

# 夜間・休日の小児救急医療体制整備に関するアンケート 調査結果概要

2024年9月

株式会社日本総合研究所  
リサーチ・コンサルティング部門  
川内丸亮介、土屋敦司、青山温子、富田奈央子、川崎真規

## 調査背景・目的

- 年々救急出場件数は増加しており、東京消防庁の統計によると、令和4年の救急出場件数は約87万件で、過去最多を更新した。<sup>※1</sup>。また、救急相談受付の件数は休日・夜間、0歳から14歳までの小児の相談が多く、特に夜間・休日の小児の救急相談の需要が高い。<sup>※2</sup>。
- 2024年4月より医師の働き方改革が施行され、持続可能な医療供給体制の維持への改革がスタートした。特に救急科医師の5.1%は年間1,860時間を超える時間外・休日労働を行っており、救急科医師の労働時間の短縮は対応すべき課題である<sup>※3</sup>。
- 一部の地域では、日中の診療体制を維持すべく、小児の夜間・休日の診療体制が縮小されている<sup>※4</sup>。三重県松阪市の例のように救急車利用の場合、入院に至らない軽症患者に対して選定療養費が必要となる運用を開始した自治体がある<sup>※5</sup>など、救急医療の供給体制の維持は困難になっている。  
また、2024年6月1日より救急往診の診療報酬改定が施行されたことにより一部の救急往診サービス提供事業者は事業の撤退を発表しており、小児の救急医療の供給体制に関する状況は大きな転換点を迎えている。
- 2024年1月の日医総研の調査では、「今後重点を置くべき医療提供体制」の1位が「夜間・休日診療や救急医療体制の整備」であり<sup>※6</sup>、特に20歳から44歳までの世代で顕著であることから、子育て世帯にとって、夜間・休日の救急医療体制の整備のニーズは高いと考える。
- そこで、夜間・休日の小児救急医療へのアクセスの課題、小児救急医療体制に対するニーズ、自治体に求める子育て支援策に関して子どもを持つ首都圏の親の意見をアンケートで調査し、自治体に求められる小児救急医療体制の整備に関する示唆を整理した。
- なお、本調査はファストドクター株式会社の協賛で実施された。

<sup>※1</sup>:東京消防庁「令和4年 救急活動の現況」(令和5年9月発行) (<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-kyuukanka/katudojitai/r4/index.html>)

<sup>※2</sup>:東京消防庁「東京消防庁救急相談センター統計資料(令和5年版)」(令和6年4月) (<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/kyuu-adv/data/toukei.pdf>)

<sup>※3</sup>:厚生労働省「第18回 医師の働き方改革の推進に関する検討会 資料2 医師の勤務実態について」(令和5年10月12日) (<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001232021.pdf>)

<sup>※4</sup>:茨城県取手市「令和6年4月から休日・夜間の子どもの救急医療体制が変わります」(2024年3月14日) ([https://www.city.toride.ibaraki.jp/hokencenter/kurashi/kenko/kenko/child\\_kyukyu.html](https://www.city.toride.ibaraki.jp/hokencenter/kurashi/kenko/kenko/child_kyukyu.html))

京都府京都市「京都市急病診療所の小児科の受付時間の変更」(2024年2月27日) (<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000322788.html>)

<sup>※5</sup>:三重県松阪市「三基幹病院における選定療養費について」(2024年6月1日更新) (<https://www.city.matsusaka.mie.jp/soshiki/24/sennteiryouyouhi.html>)

<sup>※6</sup>:日本医師会総合政策研究機構「第8回 日本の医療に関する意識調査」(2024年1月23日) (<https://www.jmari.med.or.jp/wp-content/uploads/2024/01/WP480.pdf>)

# 夜間・休日の小児救急医療の利用に関する課題や 救急往診、子育て支援策に対する首都圏に住む子どもを持つ親の意見を調査する。

### 調査仕様

- **調査名（回答者への表示）：**  
夜間・休日の小児救急医療体制整備に関するアンケート調査
- **調査地域：**  
首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）
- **調査対象：**  
子ども（末子が小学6年生以下）を持つ  
20～69歳の男女
- **サンプルサイズ：**3,000名
- **調査手法：**インターネットアンケート
- **調査時期：**2024年6月7日～6月10日
- **属性情報：**
  - 住まいの都道府県
  - 婚姻状況
  - お子さまの人数・年齢
  - 共働きの有無
  - 自家用車の所有（調査会社のモニター属性）

### 調査項目の概要

#### 夜間・休日の小児救急医療サービスの利用

- お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関わる医療サービスで利用したことがあるものについて、過去3年間の満足度をお答えください。
- 救急外来を利用する（受診する）にあたって、迷った経験はありますか。
- 救急外来の利用を検討したが利用しなかった理由をお選びください。
- 救急外来の不満に感じる点としてあてはまるものをお選びください。
- 夜間・休日にお子さまが119番を利用した理由としてあてはまるものをお選びください。
- 夜間・休日に119番を利用するにあたって、迷った経験はありますか。

#### 救急往診に対するニーズ

- 夜間・休日救急往診が利用できなくなった場合、どのようなことが心配になりますか。
- 夜間・休日救急往診は、子育てをしていくにあたり、どの程度必要なサービスだと感じますか。

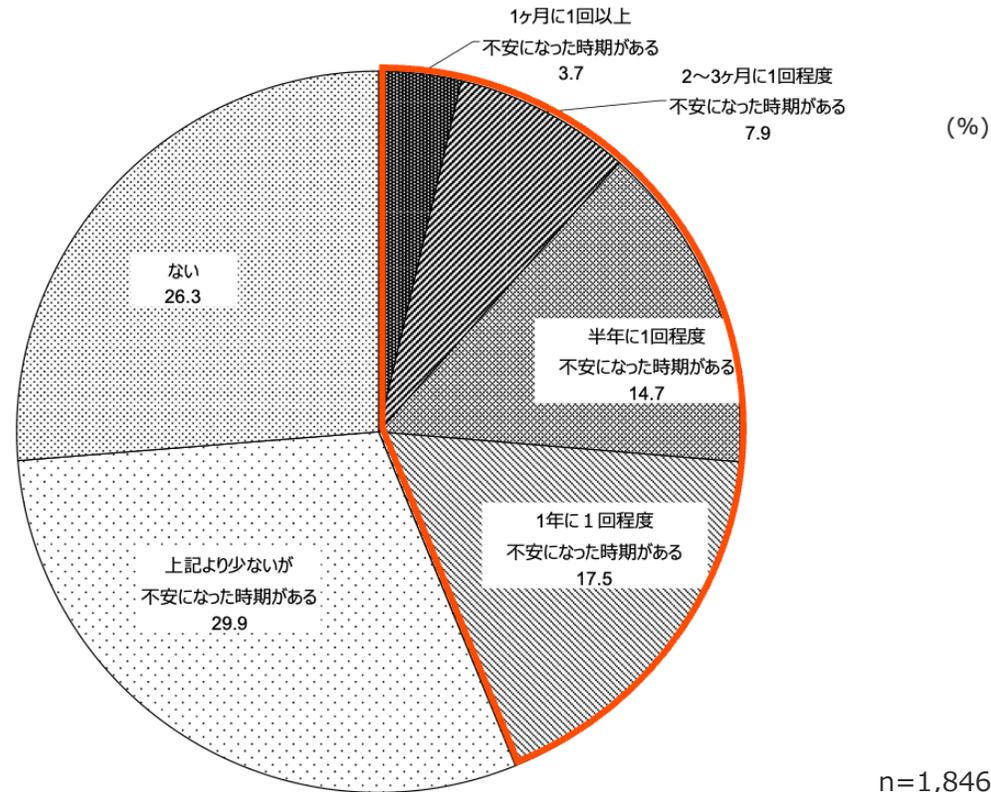
#### 自治体に求める子育て支援策

- あなたがご家族で住む街を決める際に、子育て支援として重視したいことをすべてお選びください。
- 「小児の医療体制の整備」で重視する点についてあてはまるものをすべてお選びください。
- どのような施策が充実すれば、今お住まいの街に住み続けたいと感じますか。

## 44%の親が、子どもの急な病気やケガに伴う、 夜間・休日の受診行動で年1回以上不安になっている。

- 夜間・休日の子どもの急な病気やケガに伴う一連の受診行動で**44%の親は年に1回以上不安になっている** (Q11)

Q11.過去3年間で夜間・休日のお子さまの急な病気やケガに伴う一連の受診行動に関して不安になった経験はありますか。ある場合、一番多い頻度をお答えください。(単回答)

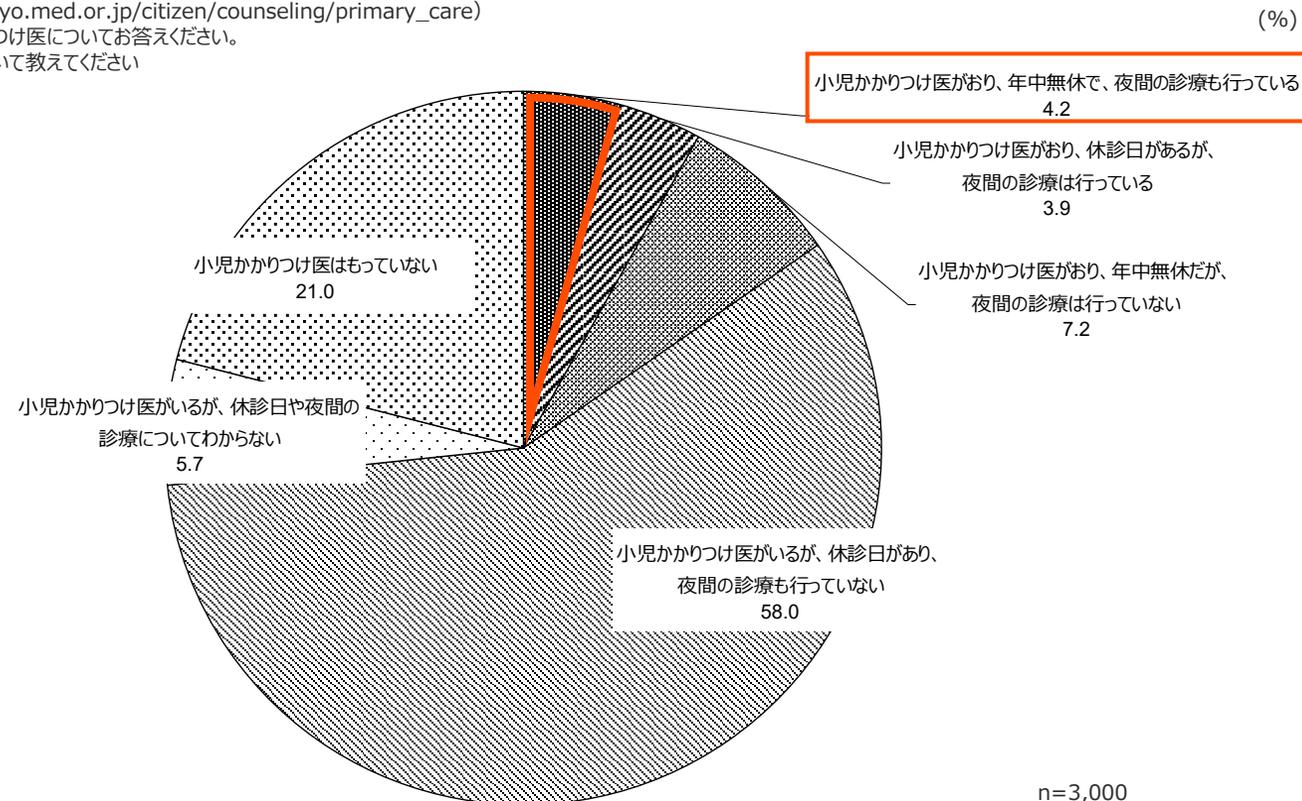


### 夜間・休日の診療を行っている小児かかりつけ医を持つ家庭は4%程度にとどまる。

- 79%の家庭が小児かかりつけ医を持っているが、年中無休で夜間の診療も行っているかかりつけ医を持っている家庭は4%にとどまる（Q1）

Q1 .あなたのご家庭では、お子さまに次のような小児かかりつけ医※1をもっていますか、いませんか。（単回答）

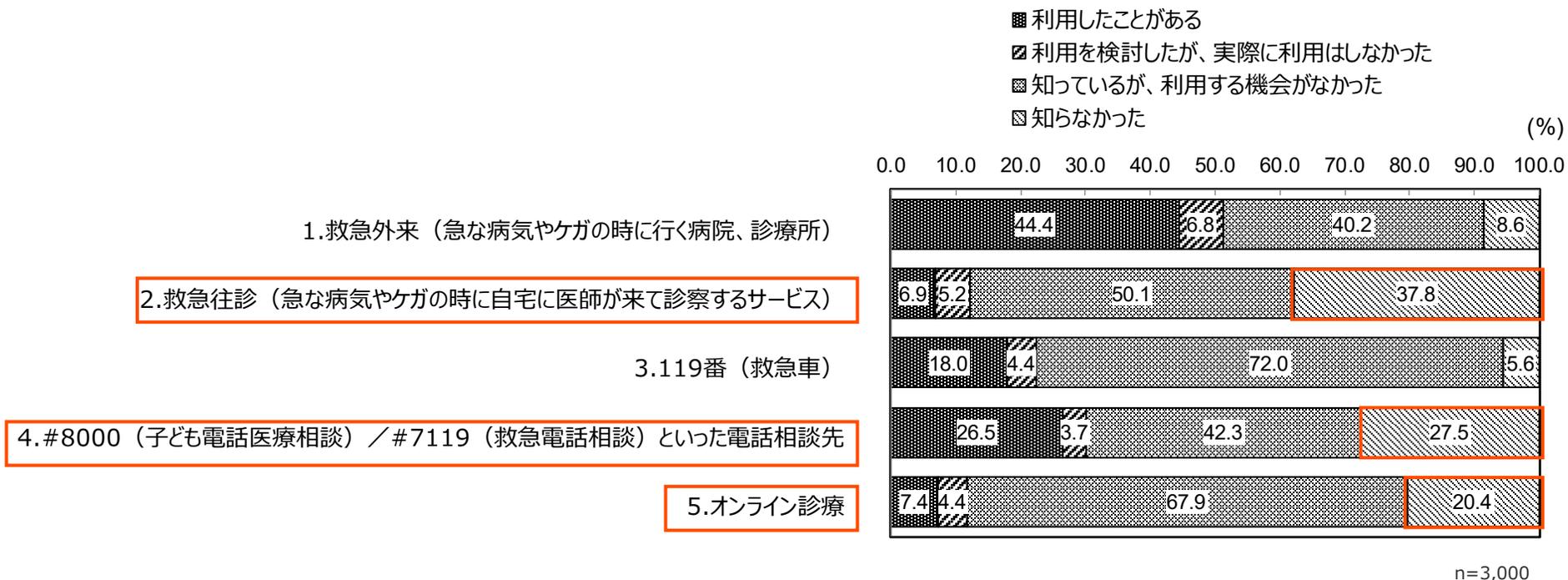
- ※1.健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと  
（出所：公益社団法人 東京都医師会[https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/counseling/primary\\_care](https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/counseling/primary_care)）
- ※2.複数のかかりつけ医をおもちの場合は、よく利用するかかりつけ医についてお答えください。
- ※3.お子さまお二人以上の方は一番下のお子さまの状況について教えてください



## 救急外来・119番と比較して、救急往診、電話相談、オンライン診療の認知度は低い。

- 救急往診を知らない親は38%、#8000/#7119といった電話相談先を知らない親は28%、オンライン診療を知らない親は20%であり、救急外来・119番と比較して認知度が低い（Q2）

Q2 .お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関して、過去3年間の以下のサービスの利用であればまるものをお選びください。（単回答）



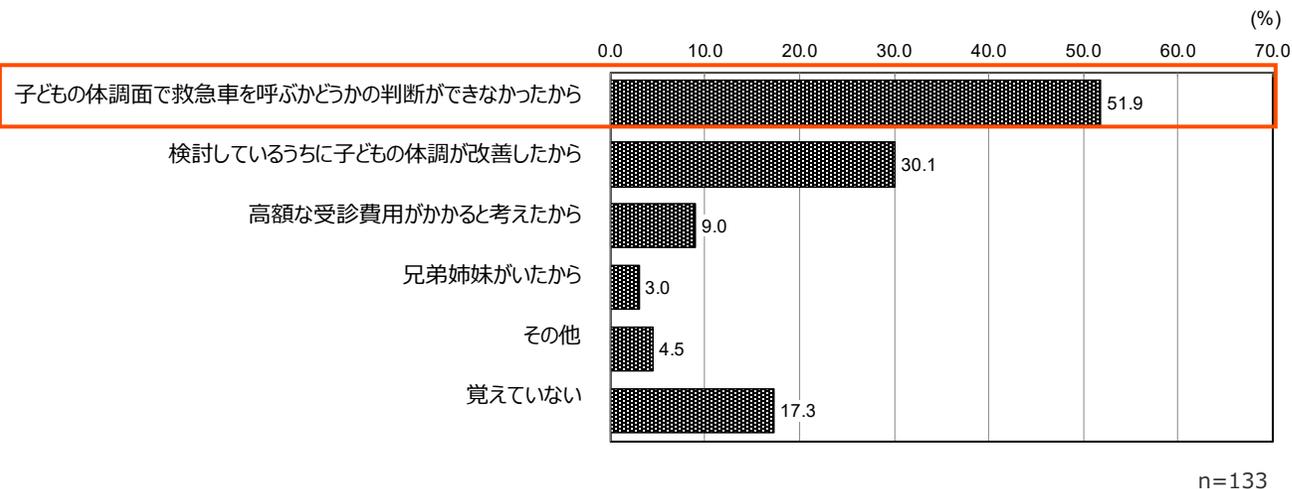
## 調査結果サマリーⅣ：夜間・休日の受診に関する親の困りごと

子どもの急病時、約7割の親は119番や救急外来の利用を迷った経験がある。  
それぞれ、利用を迷った理由として最も多いのは、  
救急車を呼ぶかどうか・救急外来を受診するべきかどうかの「判断ができなかった」である。

### 夜間・休日対応の119番の利用

- 子どもの夜間・休日の急な体調不良やケガに関して、119番を利用または利用を検討した親のうち、67%が利用を迷った経験がある（Q9）
- 119番を利用しなかった理由は子どもの体調面で救急車を呼ぶか判断ができなかったからである（Q10）

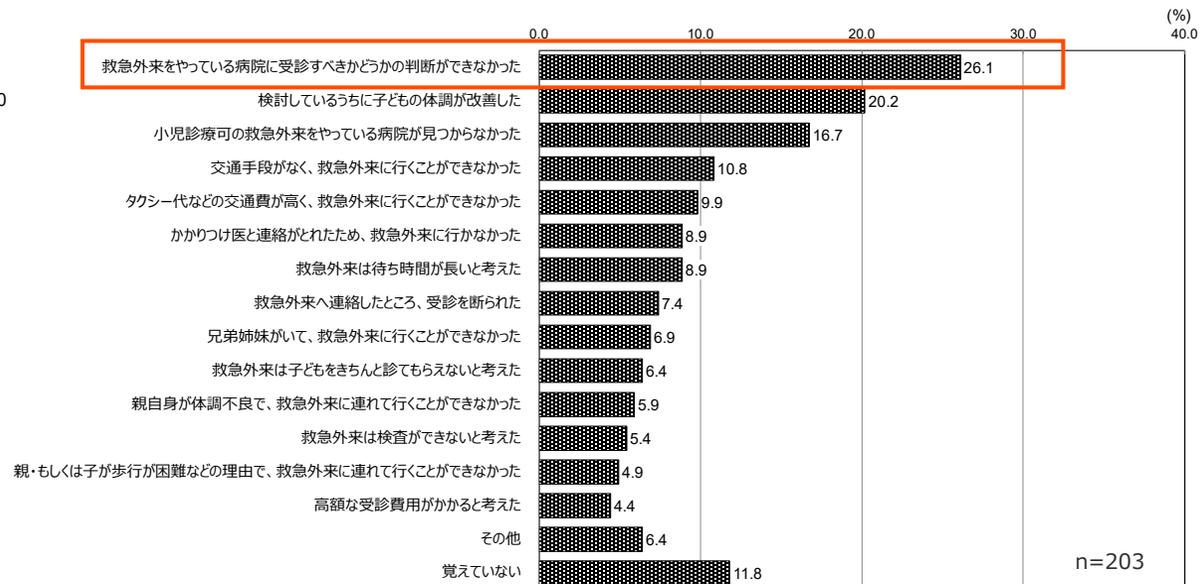
Q10.夜間・休日に119番を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きます。  
その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



### 夜間・休日の救急外来の利用

- 子どもの夜間・休日の急な体調不良やケガに関して、救急外来を利用した、または利用を検討した親のうち、71%の親が利用を迷った経験がある（Q4）
- 救急外来を利用しなかった理由は「救急外来をやっている病院に受診すべきかどうか判断ができなかった」である（Q5）

Q5.夜間・休日救急外来を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きます。  
その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



## 調査結果サマリー V : 夜間・休日の119番の利用

27%の親は、重症度を判断できず119番を利用している。

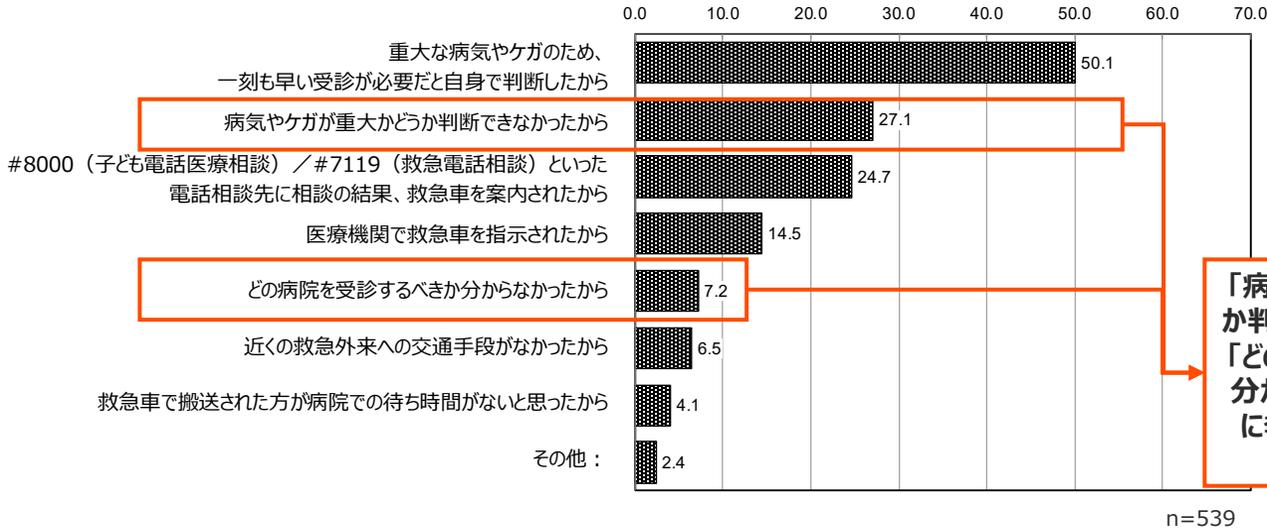
また、重大な病気やケガと自身で判断し119番を利用した親のうち、70%は入院が必要でなかった。

- 119番を利用した理由として、27%の親が「病気やケガが重大かどうか判断できなかったから」、7%の親が「どの病院を受診すべきか分からなかったから」と回答している。重症度の判断ができない、どの病院を受診すべきか分からない理由により119番を利用した親は32%である。(Q7)
- 「重大な病気やケガのため、一刻も早い受診が必要だと自身で判断したから」119番を利用したと回答した親のうち、70%の親の子どもは入院とならなかった(Q8)

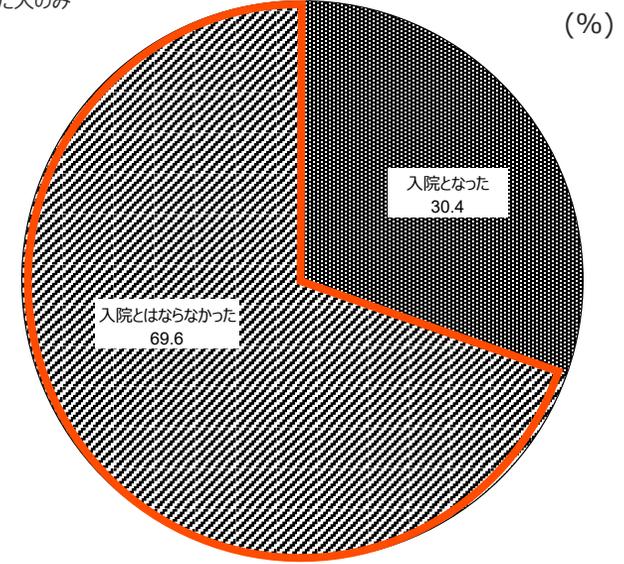
Q7.夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きます。夜間・休日にお子さまが119番を利用した理由としてあてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

Q8.夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きます。夜間・休日にお子さまが119番を利用した結果、どうなりましたか。(複数回答ある場合は、最も症状が重かった時についてご回答ください) (単回答)

Q7の夜間・休日に119番を利用した理由として「重大な病気やケガのため、一刻も早い受診が必要だと自身で判断したから」と回答した人のみ



「病気やケガが重大かどうか判断できなかったから」、「どの病院を受診すべきか分からなかったら」を理由に挙げた方は171名で31.7%

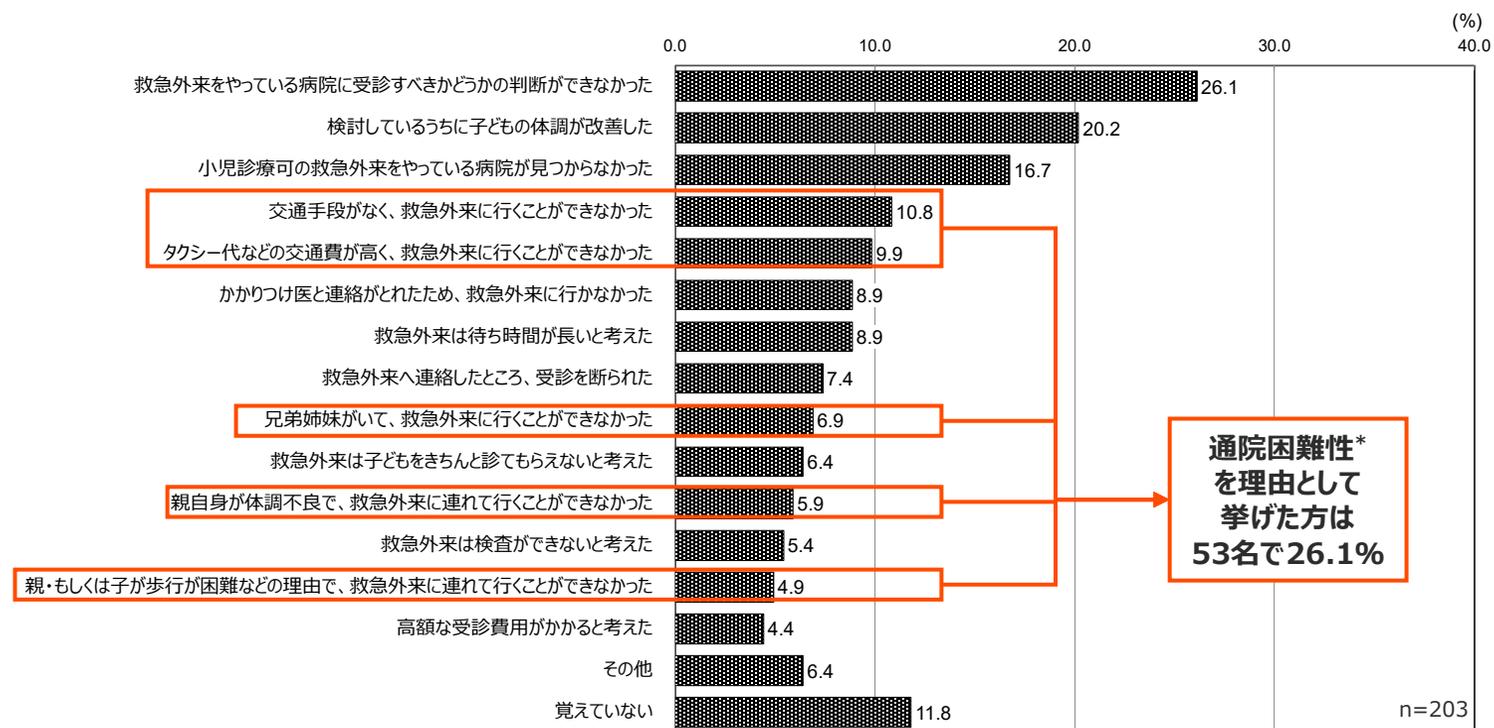


## 調査結果サマリーVI：夜間・休日の救急外来の利用における困りごと①

**通院困難性※が理由で救急外来の利用をあきらめた親は26%である。**

- 救急外来を利用しなかった理由として、「交通手段がなく、救急外来に行くことができなかった」、「タクシー代などの交通費が高く、救急外来に行くことができなかった」、「兄弟姉妹がいて、救急外来に行くことができなかった」を含め通院困難性を抱えていたと考えられる親は26%となる（Q5）

Q5.夜間・休日救急外来を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きます。その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）（単回答）

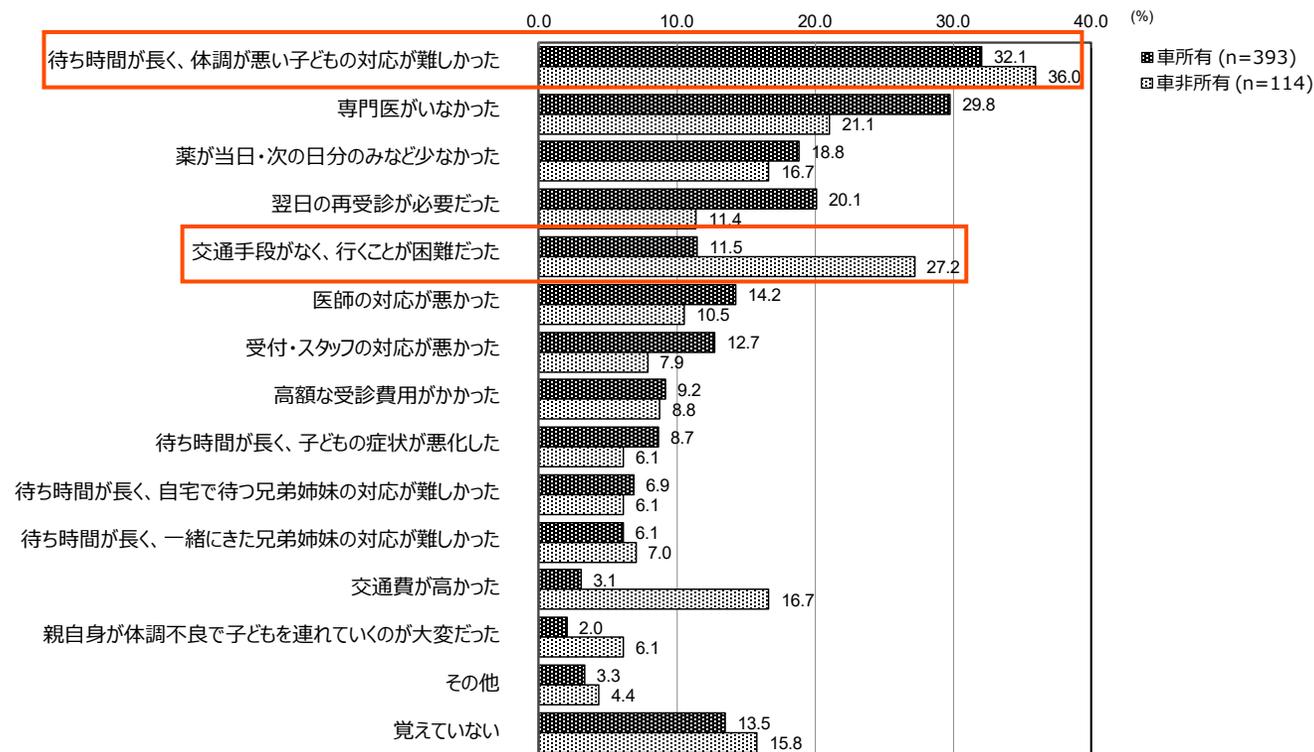


\*赤枠の選択肢いずれかを1つでも選んだ方を通院困難性を抱えていた方としてカウント

## 自家用車を保有しない家庭は 救急外来へのアクセスが困難であることに不満を抱えている割合が高い。

- 救急外来の受診に関して不満に思うこととして、自家用車がない家庭（本調査の27%）の36%が「待ち時間が長く、体調が悪い子どもの対応が難しかった」、27%が「交通手段がなく、行くことが困難だった」を理由として挙げており、それぞれ車を保有する家庭と比べ高い数値となっている（Q6）

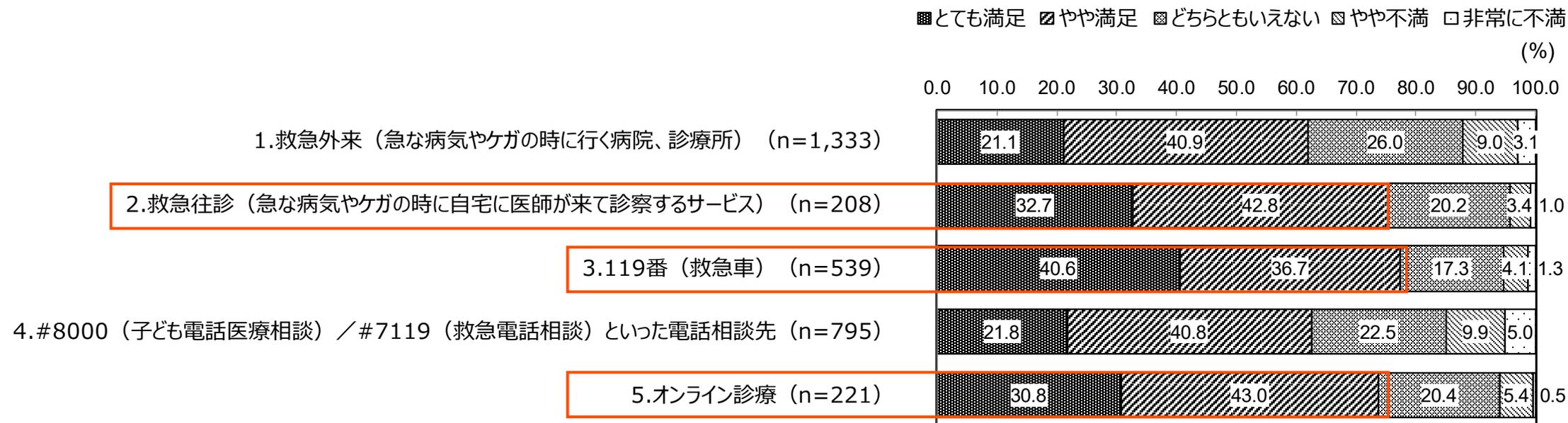
Q6 .夜間・休日救急外来を「利用したことがある」、その満足度を「どちらともいえない」「やや不満」「非常に不満」とお答えの方にお聞きます。不満に思うこととしてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



## 119番、救急往診、オンライン診療の満足度は救急外来、電話相談と比較して10ポイント以上高い。

- 夜間・休日の医療サービスの満足度に関して、「とても満足」、「やや満足」と回答した割合は119番は77%、救急往診は75%、オンライン診療は73%であり、救急外来の62%、電話相談の63%と比較して10ポイント以上高い（Q3）

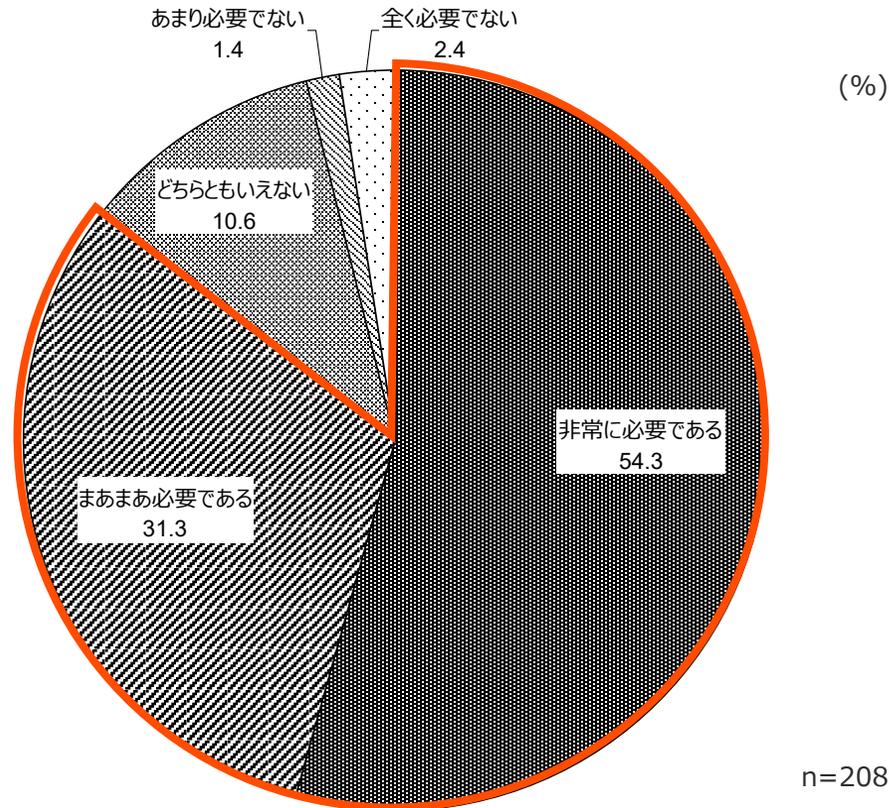
Q3.お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関わる医療サービスで利用したことがあるものについて、過去3年間の満足度をお答えください。（単回答）



## 救急往診の利用者のうち、86%の親は救急往診は必要なサービスと考えている。

- 救急往診の利用者のうち86%の親が救急往診は必要なサービスであると考えている（Q13）

Q13.夜間・休日救急往診は、子育てをしていくにあたり、どの程度必要なサービスだと感じますか。（単回答）

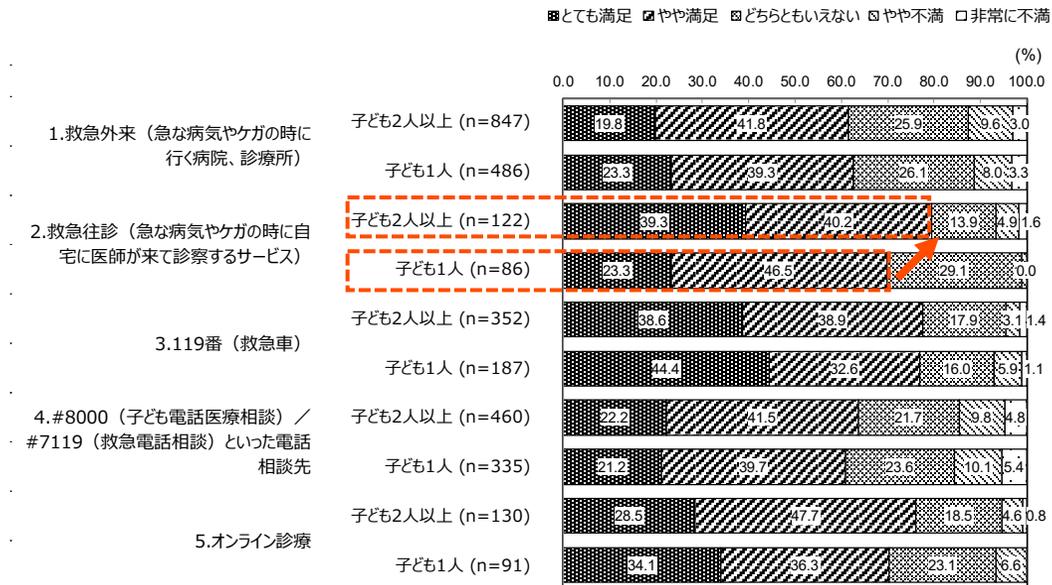


子ども2人以上いる家庭、乳幼児がいる家庭は特に救急往診に対するニーズが高い。

夜間・休日の救急医療サービスの満足度

- 子ども2人以上を持つ親※1の救急往診に対する満足度は、子ども1人の親と比較して10ポイント程度高く、80%が「とても満足」、「やや満足」と回答としている (Q3)

Q3.お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関わる医療サービスで利用したことがあるものについて、過去3年間の満足度をお答えください。(単回答)

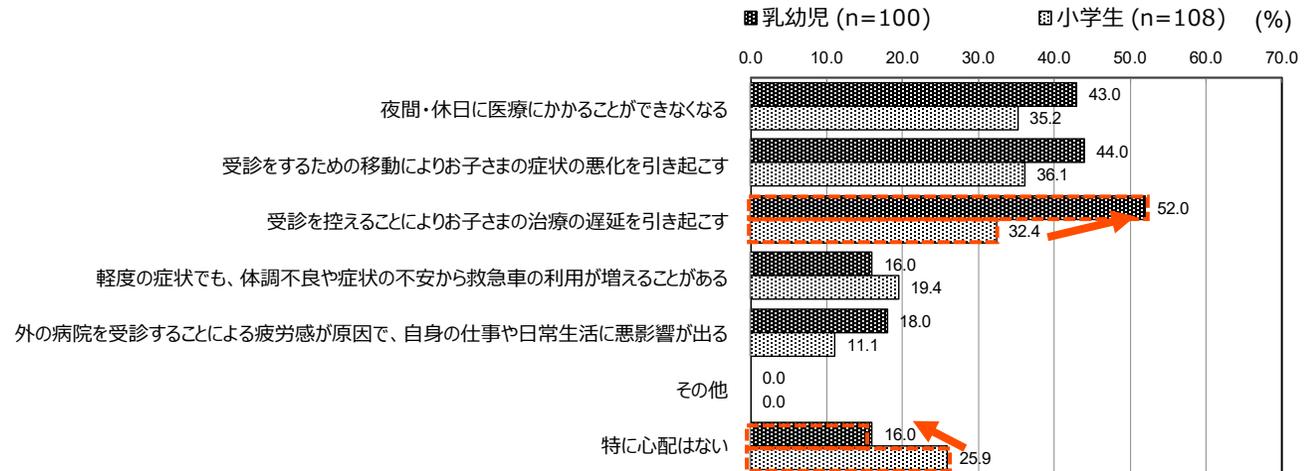


※1:本調査で子ども2人以上持つ親は58%、その中で救急往診の利用経験がある親は回答者全体の4% (122名)

救急往診が利用できなくなった場合に心配になること

- 乳幼児を持つ親※2、救急往診が利用できなくなった場合、「受診を控えることによりお子さまの治療の遅延を引き起こす」といった回答は半数を超える、また、「特に心配はない」との回答は乳幼児を持つ親は、小学生の子どもを持つ親と比較して10ポイント低い (Q12)

Q12.夜間・休日救急往診 (急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス)を「利用したことがある」方にお聞きします。夜間・休日救急往診が利用できなくなった場合、どのようなことが心配になりますか。(複数回答)

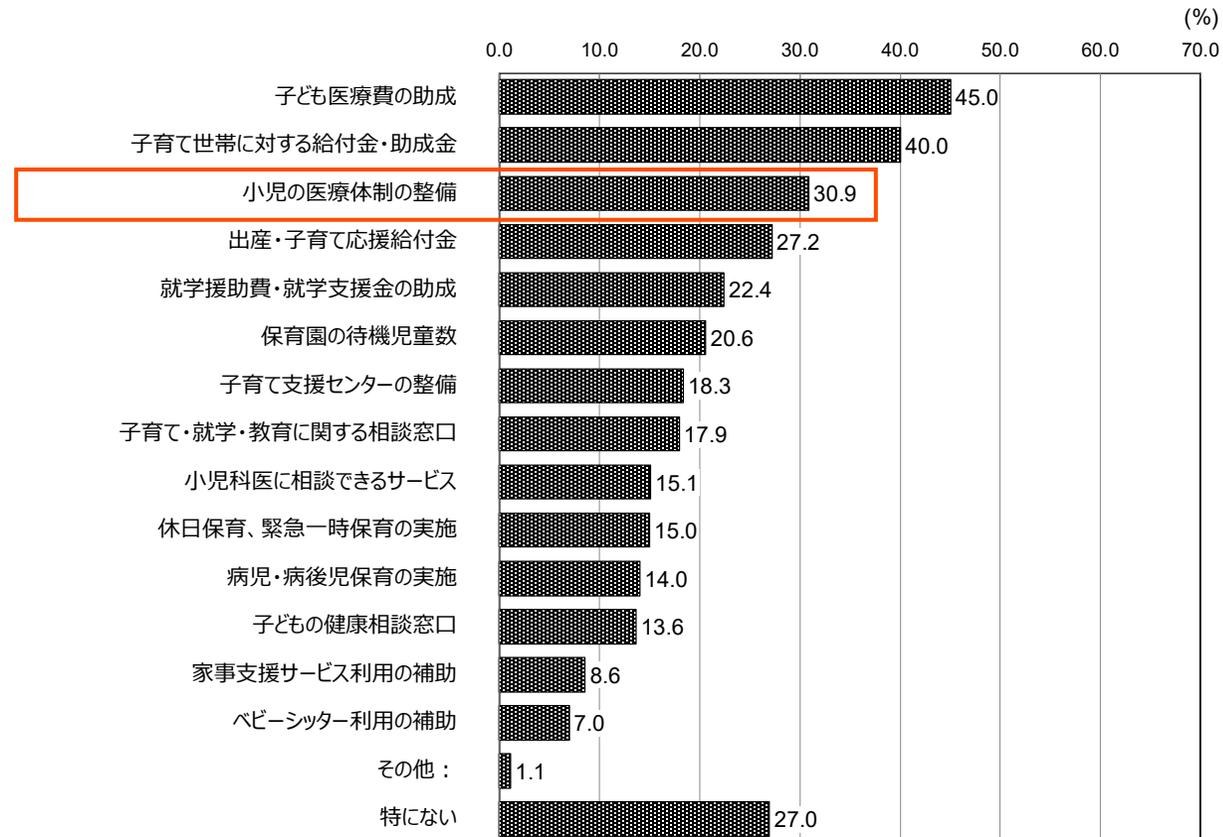


※2:本調査で乳幼児を持つ親は43%、その中で救急往診の利用経験がある親は回答者全体の3% (100名)

## 家族で住む街を決める際に、子育て支援策として3割程度の親は「小児の医療体制の整備」を重視している。

- 家族で住む街を決める際の子育て支援として重視することとして、「子ども医療費の助成」が45%と最も多く、次いで40%の親が「子育て世帯に対する給付金・助成金」、31%の親が「小児の医療体制の整備」と回答している（Q14）

Q14.あなたがご家族で住む街を決める際に、子育て支援として重視したいことをすべてお選びください。（複数回答）



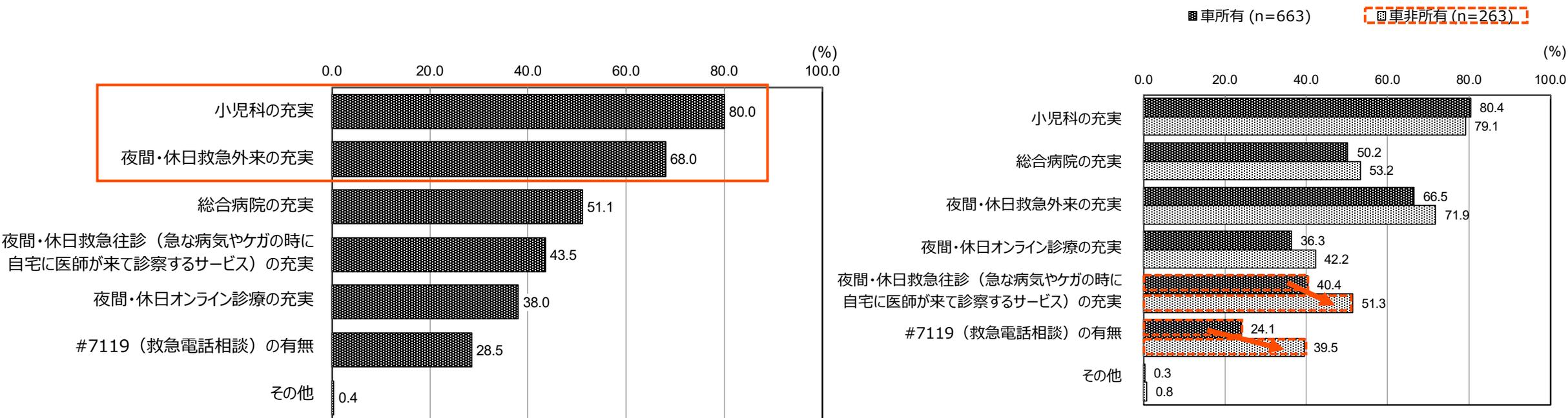
n=3,000

## 調査結果サマリーⅡ：自治体に求める子育て支援策②

### 「小児の医療体制の整備」の具体的な施策として、 「小児科の充実」、「夜間・休日救急外来の充実」を自治体に求めている親が多い。

- 家族で住む街を決める際の子育て支援として重視することとして「小児の医療体制の整備」と回答した親が具体的に重視する施策として、「小児科の充実」が80%と最も多く、次いで、68%の親は「夜間・休日救急外来の充実」と回答している（Q15）
- また、重視する小児の医療体制の整備として、自家用車を保有しない家庭※1は保有する家庭と比較して、「夜間・休日救急往診の充実」、「救急電話相談の有無」が10ポイント高い（Q15）

Q15.ご家族で住む街を決める際に、子育て支援策として「小児の医療体制の整備」を重視するとお答えの方にうかがいます。重視する点についてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



※1:本調査で自家用車を保有しない家庭は27%、その中で子育て支援策として「小児医療体制の整備」を重視すると回答した親は9%（263名）

本調査より得られた夜間・休日の小児救急医療体制の課題は、  
「夜間・休日のかかりつけ医機能の不足」、「救急外来への通院困難性」である。

課題

調査結果

夜間・休日の子どもの  
急病に対応する  
かかりつけ医機能の認知・  
普及の不足

- 夜間・休日の診療を行っている小児かかりつけ医を持つ親は4%にとどまる。また、救急外来・119番と比較して、救急往診、電話相談、オンライン診療の認知度は低い。
- 半数程度の親が年に1回以上夜間・休日の子どものケガや体調不良に伴う受診行動に不安を抱えている。その主な理由として、子どもの急病時に受診すべきかを親自身で判断できていないことが調査より推察される。119番を利用しなかった理由は「子どもの体調面で救急車を呼ぶか判断ができなかったから」が最も多く52%、救急外来の利用を検討したが利用しなかった理由は「救急外来をやっている病院に受診すべきかどうか判断ができなかった」が最も多く26%である。また、親自身で119番が必要と判断し119番を利用したが、入院とはならなかったケースも70%であり、夜間・休日の救急の受診に関して判断に困りごとを抱える親は多い。
- 不安を抱える親に対して、かかりつけ医の診療時間外であることが多い夜間・休日の子どもの医療相談先である電話相談（#8000、#7119）の周知は不十分であり、更には救急往診やオンライン診療といったかかりつけ医機能を補完する医療サービスも十分には普及していない。

救急外来への  
通院困難性

- 「交通手段がなく、救急外来に行くことができなかった」、「タクシー代などの交通費が高く、救急外来に行くことができなかった」、「兄弟姉妹がいて、救急外来に行くことができなかった」など通院困難性に関連した理由のため、救急外来の利用をあきらめた親は26%である。
- 特に自家用車を保有しない家庭のうち、27%は交通手段がなく救急外来に行くことの難しさに不満を抱えている。
- 世帯当たりの自動車保有率は東京都が41.6%、大阪府が62.3%、神奈川県が67.8%と特に都市部では自動車保有率が低くなっており、救急外来への通院困難性を要因として救急外来受診をあきらめる家庭も多いと想定する。※1

※1:一般社団法人自動車 自動車検査登録情報協会「自家用乗用車の世帯普及台数（2023年3月末）」（<https://www.airia.or.jp/publish/statistics/mycar.html>）

自治体は電話相談などの周知徹底に加えて救急往診やオンライン診療などを利用しやすい仕組み作りを取り入れ、小児救急医療体制の構築を進めるべきである。

課題

夜間・休日の子どもの急病に対応する  
かかりつけ医機能の認知・普及の不足

救急外来への  
通院困難性

救急往診や  
オンライン診療を  
実施する医療機  
関や事業者との  
連携、利用促進

本調査より示唆された自治体のアクション

- 救急往診に関して、他の救急医療サービスと比較して認知度は最も低くなっているが、救急往診を利用したことがある親の86%は小児夜間・休日往診を必要なサービスと考えており、特に、子ども2人以上<sup>※1</sup>を持つ親や乳幼児を持つ親は救急往診のニーズが高い。
- 働き方改革の影響もあり、既存の夜間・休日の救急外来の維持・拡充は困難であると想定されるため、夜間・休日のかかりつけ医機能・相談機能を強化するため、電話相談（#8000、#7119）のほか、**救急往診やオンライン診療の活用の推進が必要である。**
- 一方、小児夜間・休日救急往診の利用に関して医師の交通費等の自己負担金として1,000円程度までであれば、支払うと答えている親は40%であり、これらの親は救急往診サービスに自己負担金として1,000円以上支払うことに否定的である。そのため、**小児救急医療体制の構築に加えて必要なサービスに関しては金銭的な補助などの仕組み作りも必要と考える。**

※1:国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）第Ⅱ部」（[https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou16/doukou16\\_gaiyo.asp#NFS16\\_Stat](https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou16/doukou16_gaiyo.asp#NFS16_Stat)）における夫婦の完結出生子ども数では子ども2人、3人以上を合わせて72%である。

# 小児医療体制の整備は、子育て世代からニーズの高い「子育て支援策」であり、自治体の魅力向上につながる。

- 本調査より、親が夜間・休日の小児救急医療に対して抱えている課題、求められている施策を整理した。
- 厚生労働省の調査でも15歳未満の患者は他の世代に比べて時間外診療を受ける比率が高く※1、子どもを持つ親の夜間・休日の小児救急医療に対するニーズは比較的高いことが推察される。一方、働き方改革の影響もあり、既存の夜間・休日の救急外来の拡充は困難である。
- 不要な救急搬送を抑制し、必要な患者を適切に救急外来、119番へつなげる相談・かかりつけ医機能の補完のために、電話相談（#8000、#7119）のほか、**救急往診やオンライン診療の活用**の推進が必要であると示唆された。
- 子どもを持つ家庭の26%は通院困難性を抱えている中、**自治体は救急往診やオンライン診療を実施する医療機関や事業者との連携や補助の仕組み作りを通じて、小児救急医療体制の構築を進めるべきではないか。**
- 本調査でも、家族で住む街を決める際に3割程度の親は「小児の医療の充実さ」を重視しており、特に「小児科の充実」、「夜間・休日救急外来の充実」を自治体に求めている親が多いことが明らかになっており、自治体にとっては小児救急医療体制を整備することは目先の救急医療の需要と供給に対する課題の解決のみならず、将来的に自治体の魅力向上につながる取り組みである。

※1:厚生労働省 医政局地域医療計画課「小児医療について」(<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/001040960.pdf>)

## 調査結果

---

## Q1.調査結果（単純集計）

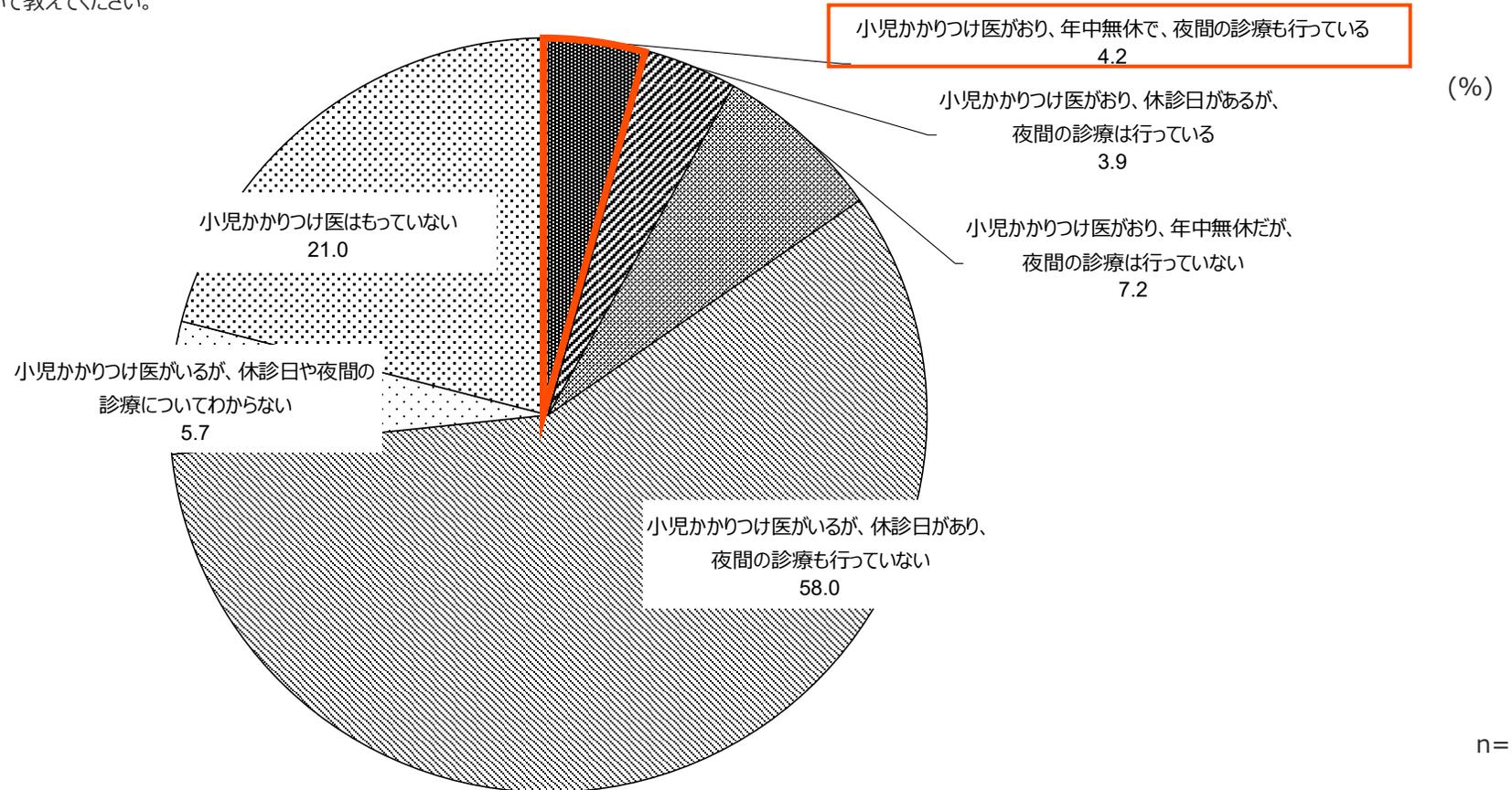
79%の家庭が小児かかりつけ医を持っているが、  
年中無休で夜間の診療も行っているかかりつけ医を持っている家庭は4%である。

### Q1.あなたのご家庭では、お子さまに次のような小児かかりつけ医※1をもっていますか、いませんか。（単回答）

※1.健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと（出所：公益社団法人 東京都医師会[https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/counseling/primary\\_care](https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/counseling/primary_care)）

※2.複数のかかりつけ医をおもちの場合は、よく利用するかかりつけ医についてお答えください。

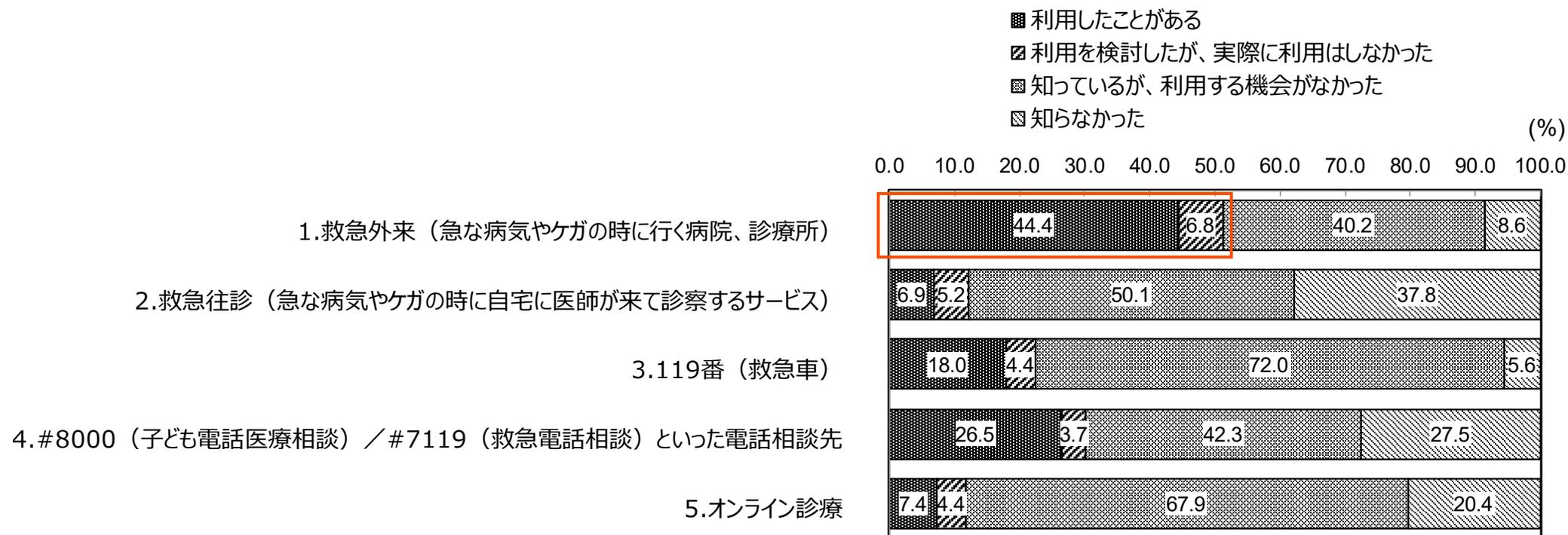
※3.お子さまお二人以上の方は一番下のお子さまの状況について教えてください。



## Q2.調査結果（単純集計）

夜間・休日の医療サービスのうち、救急外来を利用した、または利用を検討した経験がある親が最も多く、半数程度である。

Q2.お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関して、過去3年間の以下のサービスの利用であればまるものをお選びください。（単回答）

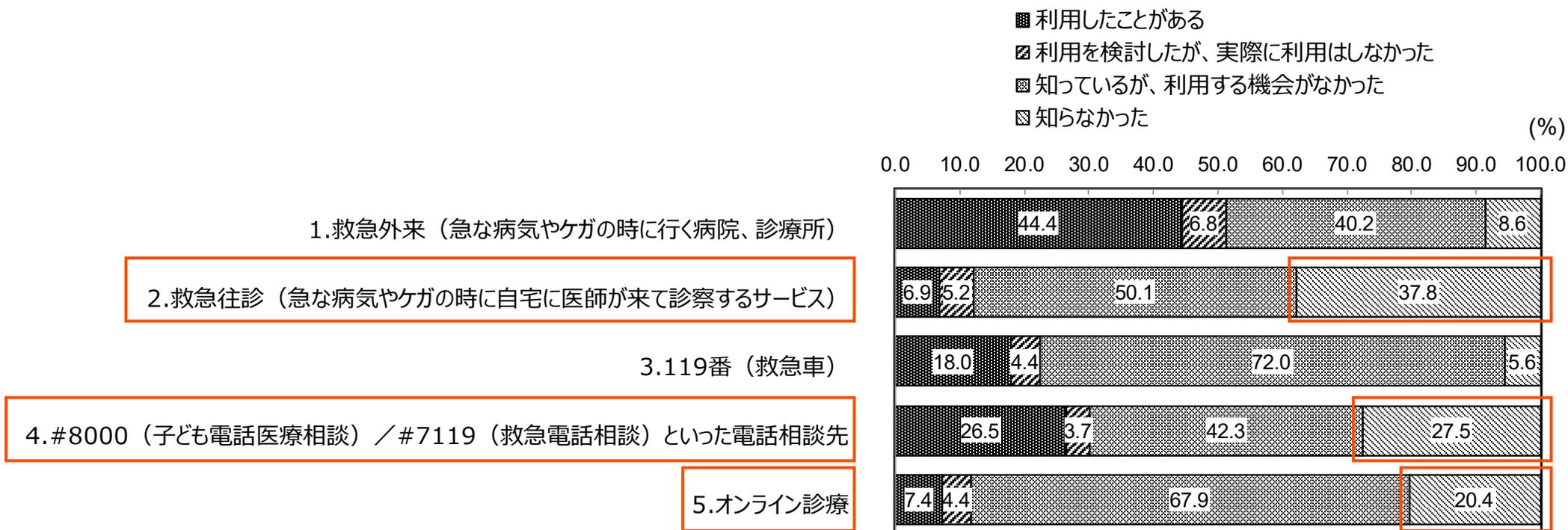


n=3,000

## Q2.調査結果（単純集計）

子どもの夜間・休日の救急医療サービスとして、  
救急往診を知らない親は38%、#8000/#7119といった電話相談先を知らない親は28%、オンライン診療  
を知らない親は20%であり、救急外来・119番と比較して認知度が低い。

Q2.お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関して、過去3年間の以下のサービスの利用であてはまるものをお選びください。（単回答）

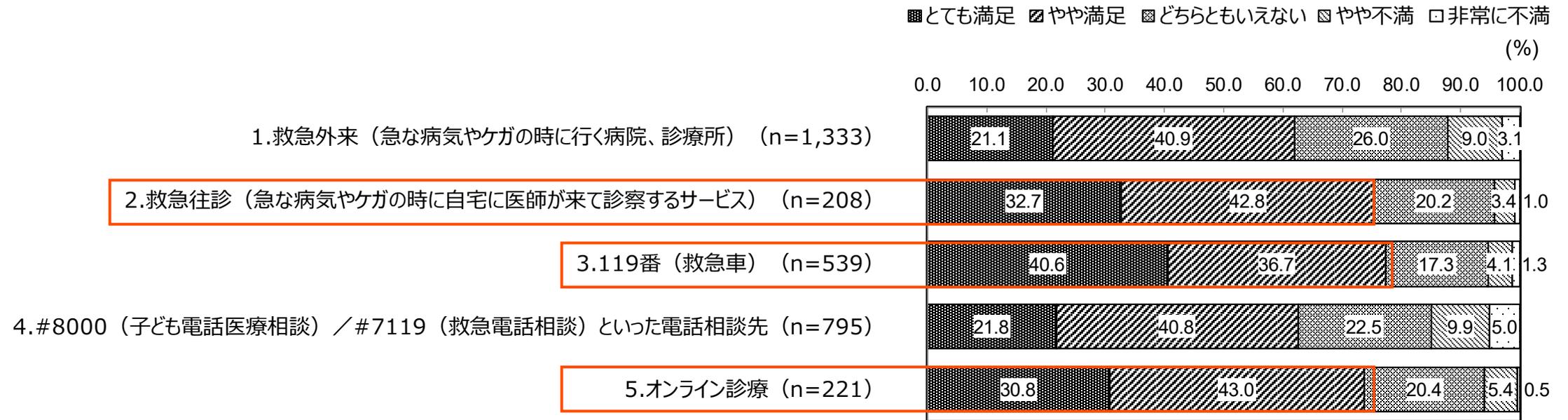


n=3,000

### Q3.調査結果（単純集計）

夜間・休日の医療サービスの満足度に関して、「とても満足」、「やや満足」と回答した割合は119番は77%、救急往診は76%、オンライン診療は74%であり、救急外来の62%、電話相談の63%と比較して10ポイント以上高い。

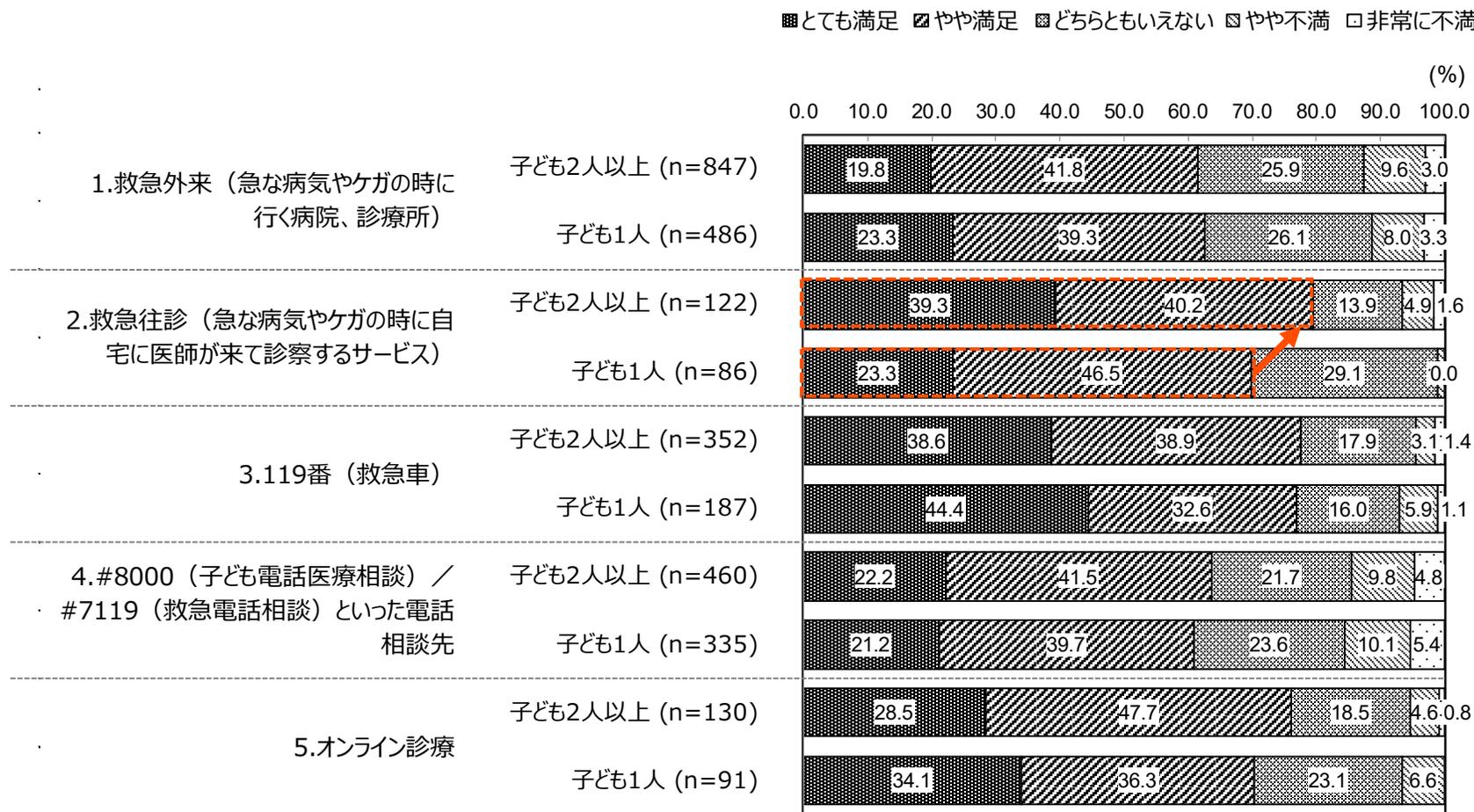
Q3.お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関わる医療サービスで利用したことがあるものについて、過去3年間の満足度をお答えください。（単回答）



### Q3.調査結果（クロス集計）

子ども2人以上を持つ親の救急往診に対する満足度は、  
子ども1人の親と比較して10ポイント程度高く、80%が「とても満足」、「やや満足」と回答。

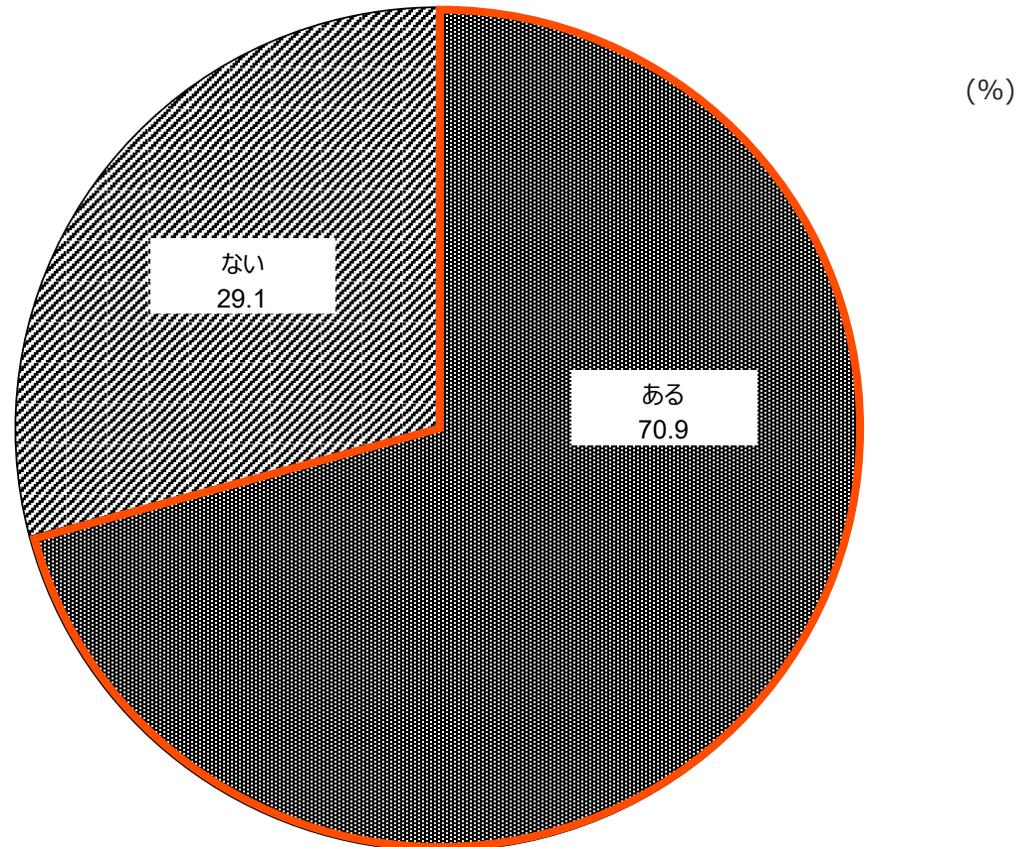
Q3.お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関わる医療サービスで利用したことがあるものについて、過去3年間の満足度をお答えください。（単回答）



## Q4.調査結果（単純集計）

夜間・休日の子どもの体調不良に関して夜間・休日救急外来の利用で迷った経験がある親は71%。

Q4.夜間・休日救急外来を「利用したことがある」もしくは「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きします。  
夜間・休日救急外来を利用する（受診する）にあたって、迷った経験はありますか。（単回答）

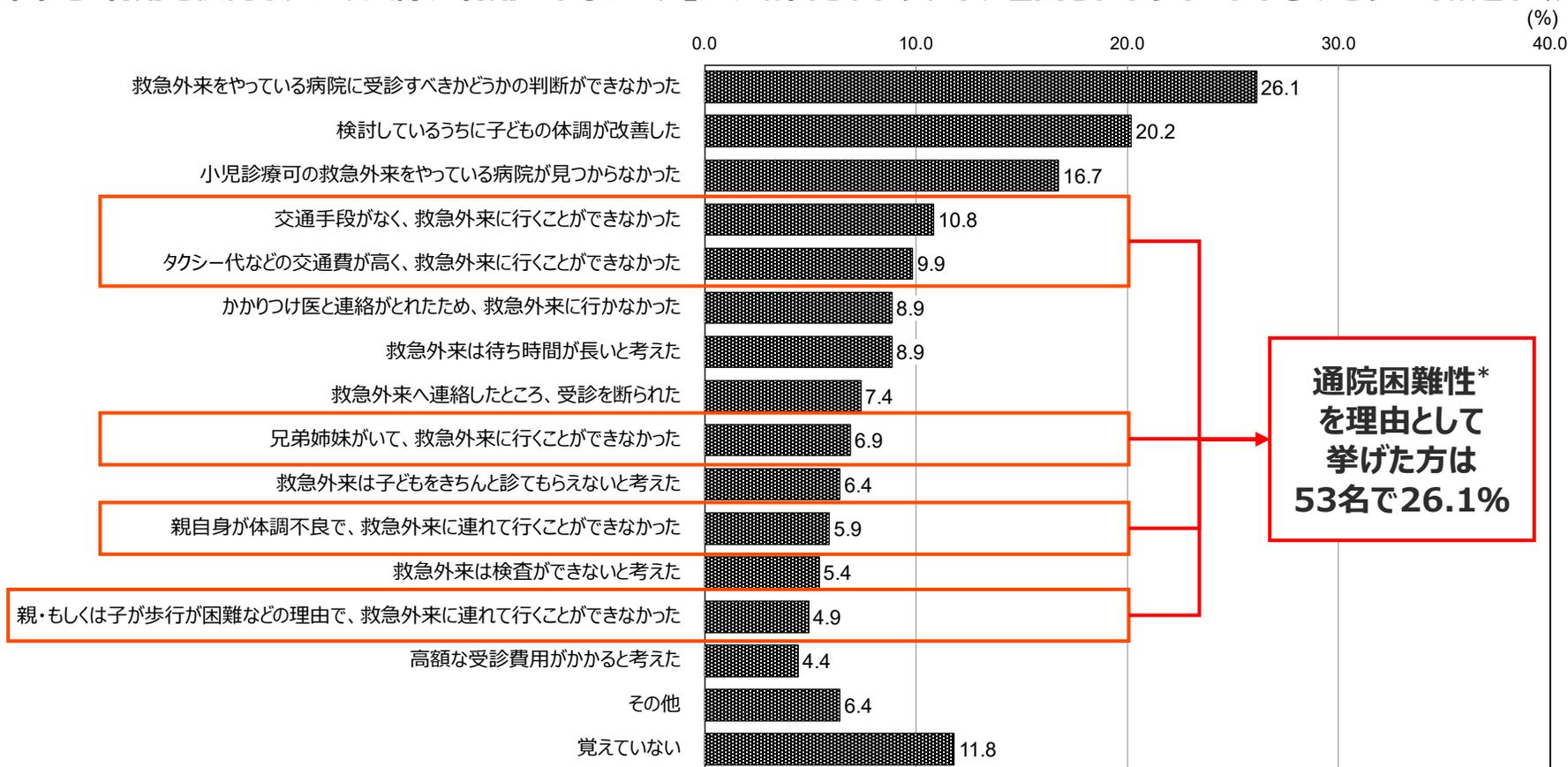


n=1,536

## Q5.調査結果（単純集計）

救急外来を利用しなかった理由は、26%の親が「救急外来をやっている病院に受診すべきか判断ができなかった」で最も多く、次いで20%の親が「検討しているうちに子どもの体調が改善した」、17%の親が「小児診療可の救急外来をやっている病院が見つからなかった」である。「交通手段がなく、救急外来に行くことができなかった」含め通院困難性を抱える親は26%である。

Q5.夜間・休日救急外来を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きします。その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



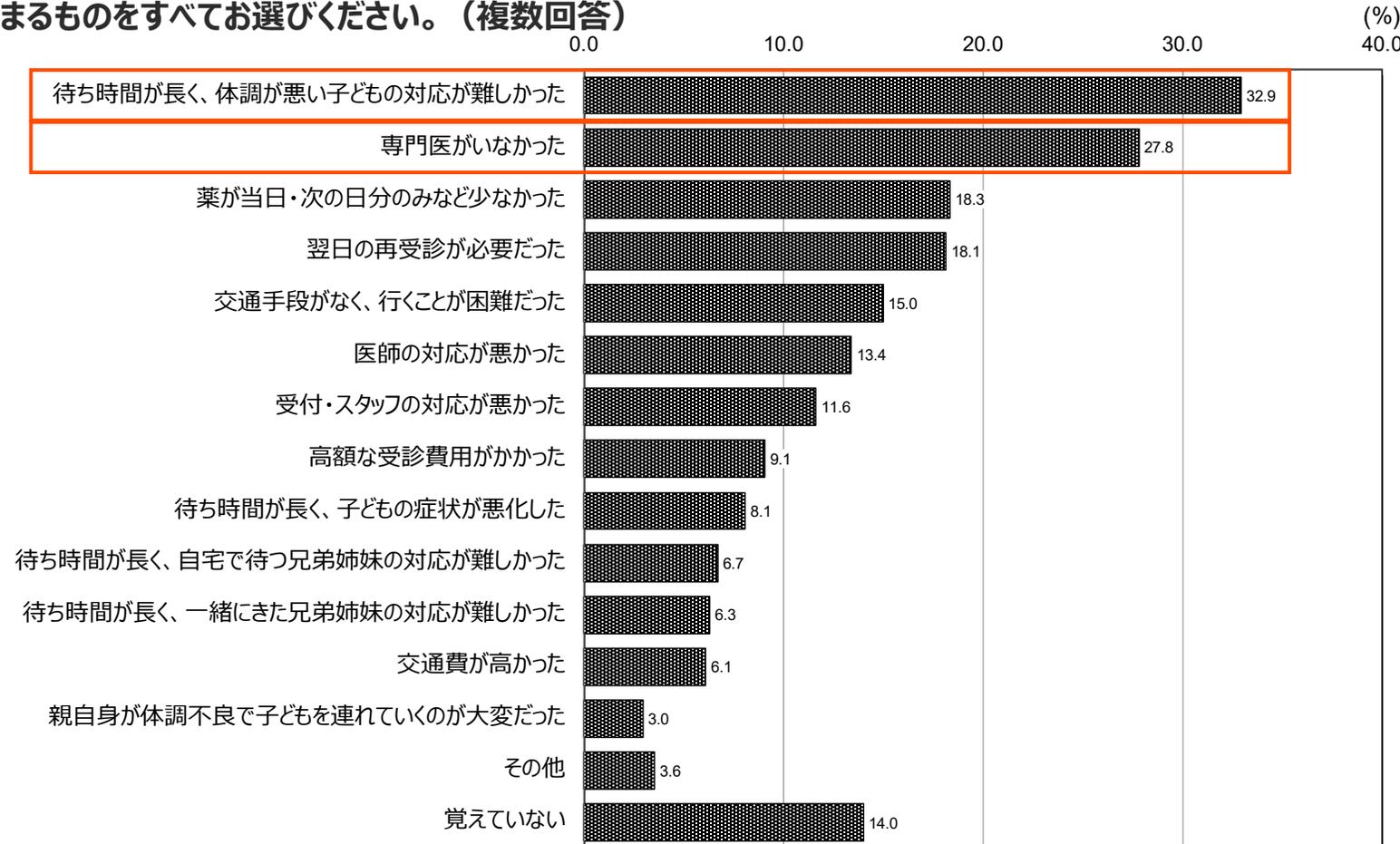
n=203

\*赤枠の選択肢いずれかを1つでも選んだ方を通院困難性を抱えていた方としてカウント

## Q6.調査結果（単純集計）

救急外来の不満に思うこととして、「待ち時間が長く、体調が悪い子どもの対応が難しかった」が33%で最も多く、次いで28%の親は「専門医がいなかった」と回答している。

Q6.夜間・休日救急外来を「利用したことがある」、その満足度を「どちらともいえない」「やや不満」「非常に不満」とお答えの方にお聞きします。不満に思うこととしてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

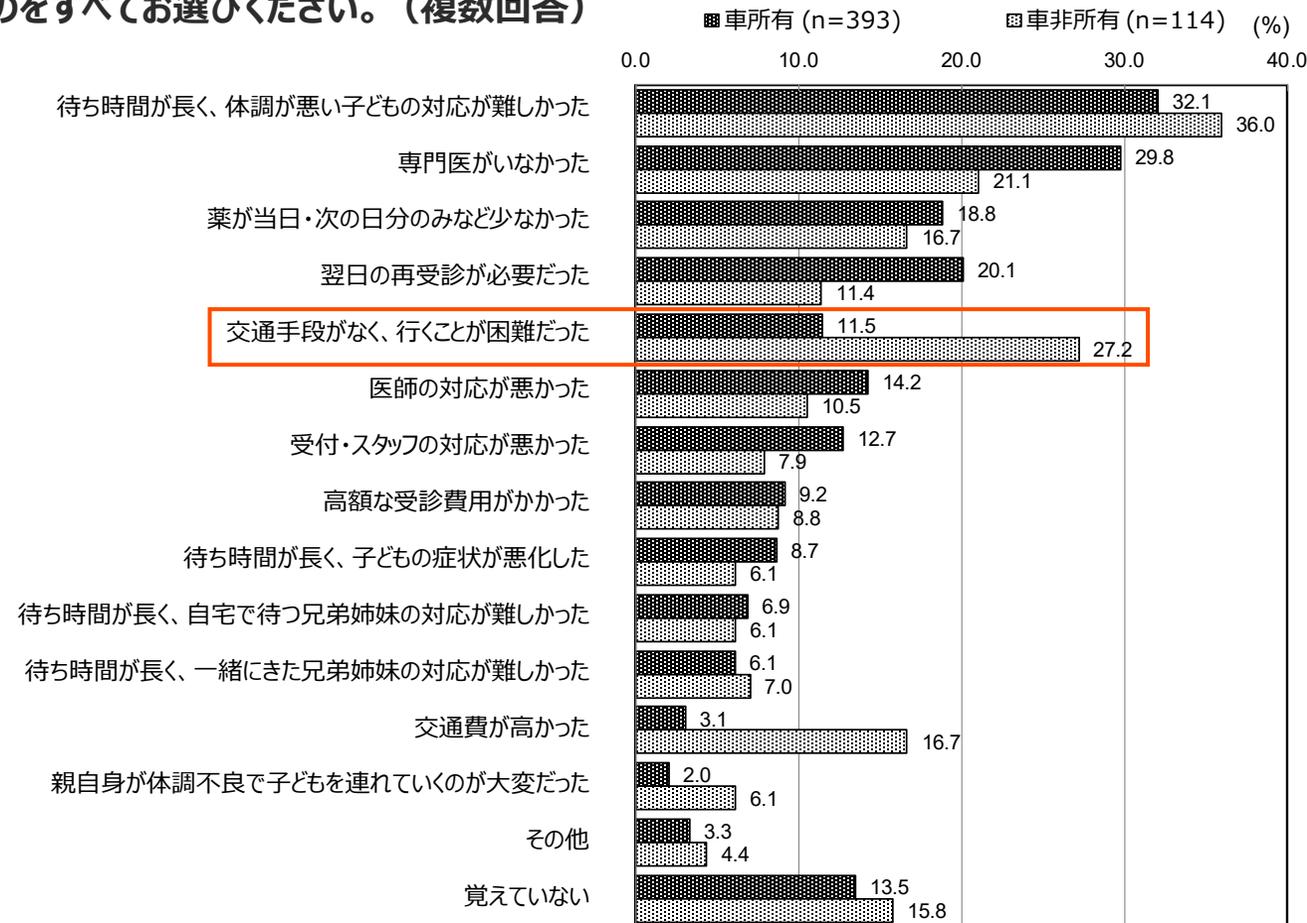


n=507

## Q6.調査結果（クロス集計）

救急外来の受診に関して不満に思うこととして、自家用車がない親は36%が「待ち時間が長く、体調が悪い子どもの対応が難しかった」、27%が「交通手段がなく、行くことが困難だった」を理由として挙げている。

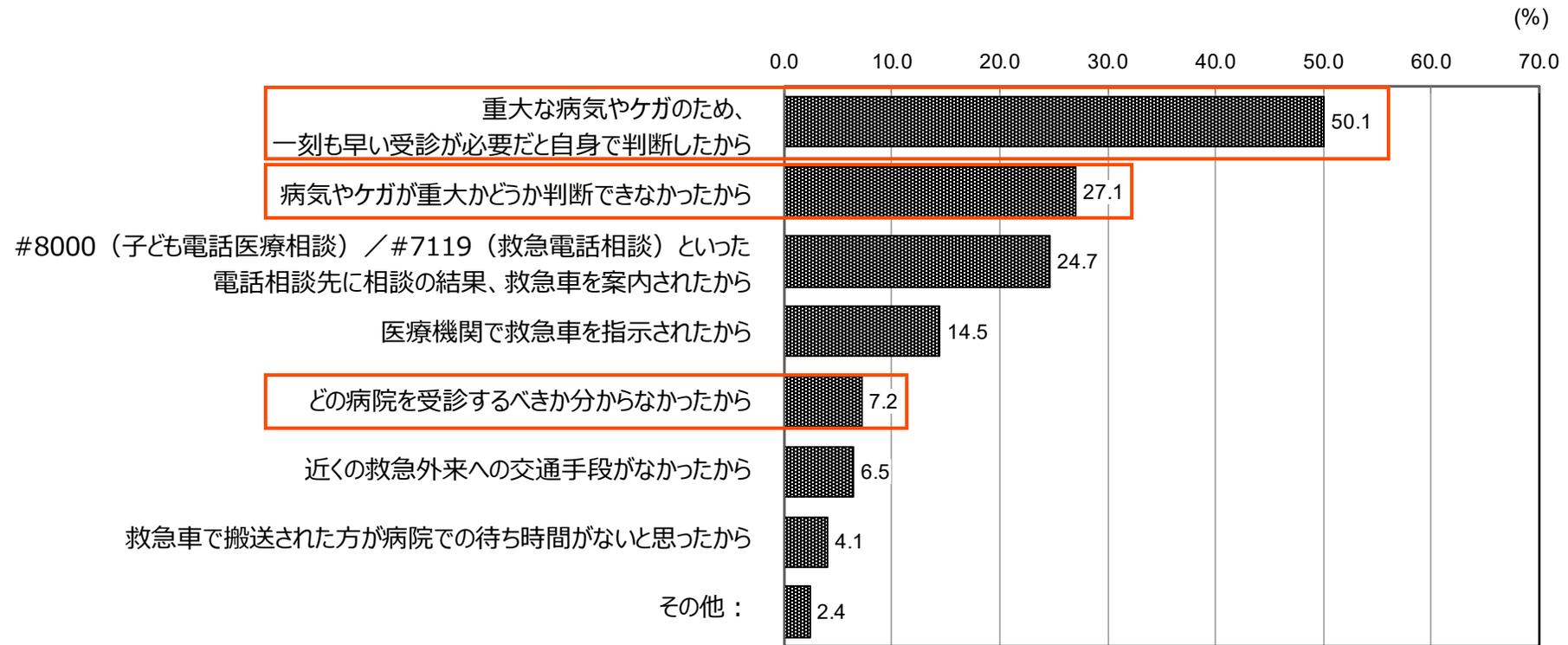
Q6.夜間・休日救急外来を「利用したことがある」、その満足度を「どちらともいえない」「やや不満」「非常に不満」とお答えの方にお聞きします。不満に思うこととしてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



## Q7.調査結果（単純集計）

119番を利用した理由として「重大な病気やケガのため、一刻も早い受診が必要だと自身で判断したから」が50%と最も多く、次に「病気やケガが重大かどうか判断できなかったから」が27%と多い。また、7.2%の親が「どの病院を受診すべきか分からなかったから」と回答している。

Q7.夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きます。夜間・休日にお子さまが119番を利用した理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

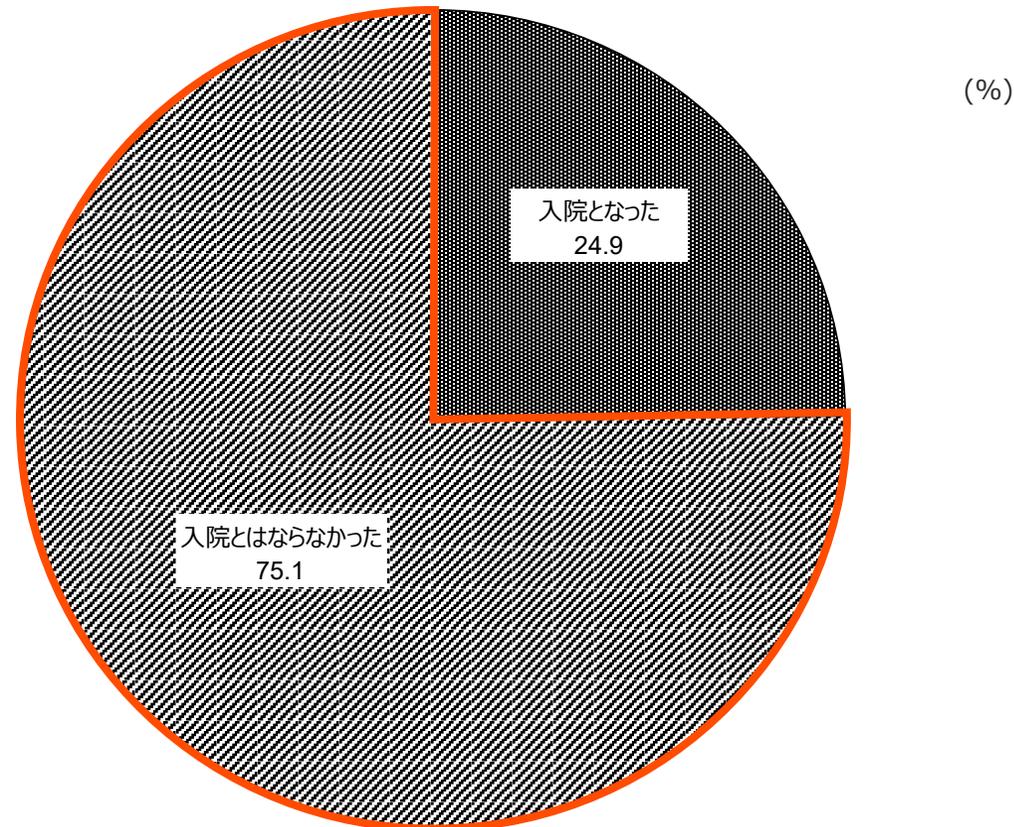


n=539

## Q8.調査結果（単純集計）

夜間・休日に子どもの体調不良で119番を利用した結果、75%の親の子どもは入院とはならなかった。

Q8.夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きます。夜間・休日にお子さまが119番を利用した結果、どうなりましたか。  
(複数回ある場合は、最も症状が重かった時についてご回答ください) (単回答)



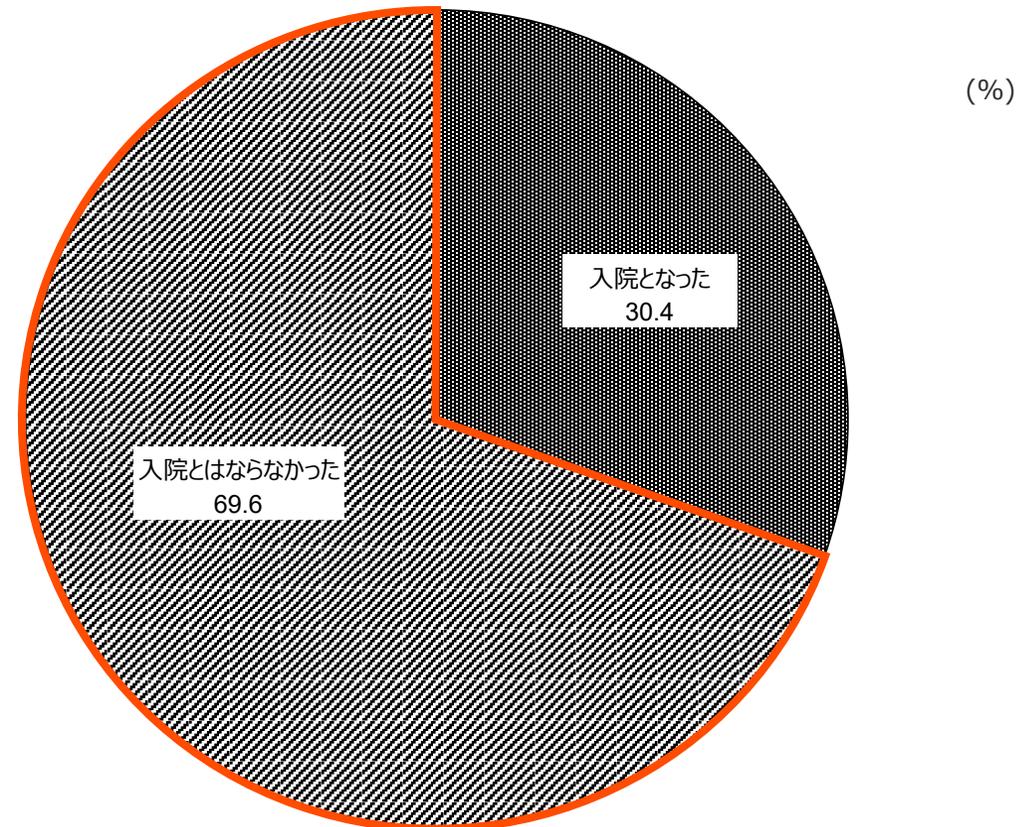
n=539

## Q8.調査結果（クロス集計）

「重大な病気やケガのため、一刻も早い受診が必要だと自身で判断したから」119番を利用したと回答した親のうち、70%の親の子どもは入院とはならなかった。

Q8.夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きます。夜間・休日にお子さまが119番を利用した結果、どうなりましたか。  
(複数回ある場合は、最も症状が重かった時についてご回答ください) (単回答)

Q7の夜間・休日に119番を利用した理由として「重大な病気やケガのため、一刻も早い受診が必要だと自身で判断したから」と回答した人のみ

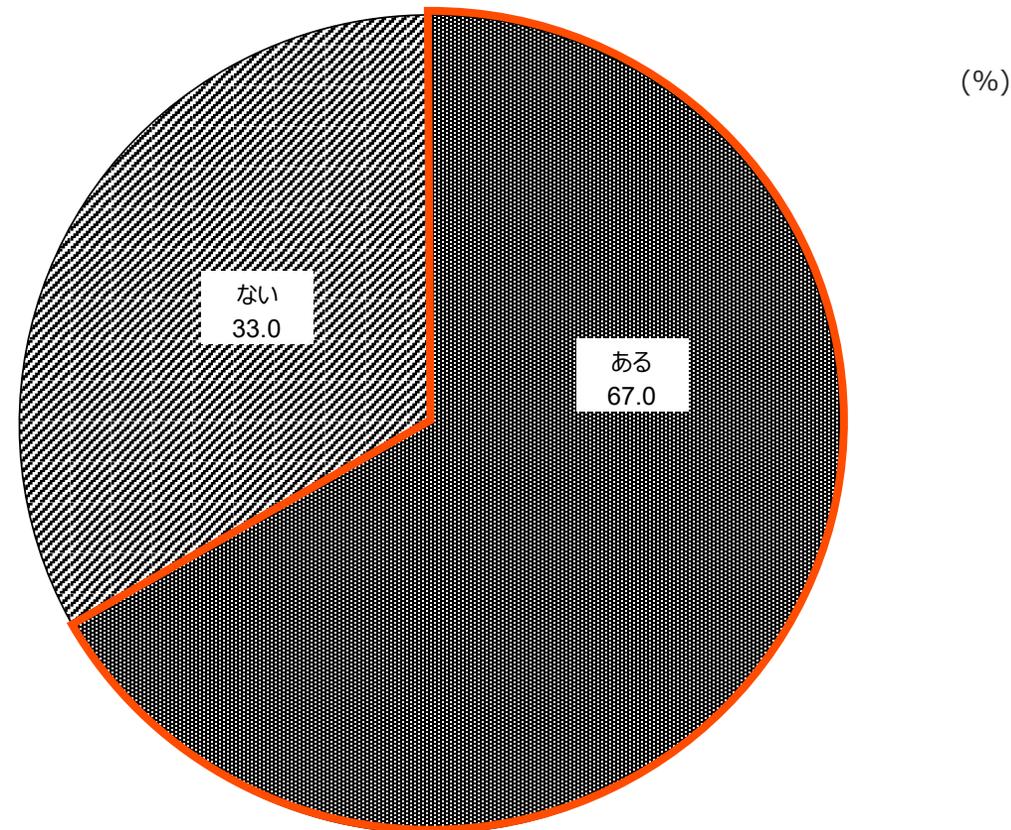


n=270

## Q9.調査結果（単純集計）

夜間・休日の子どもの体調不良に関して119番の利用で迷った経験がある親は67%。

Q9.夜間・休日に119番を「利用したことがある」もしくは「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きします。  
夜間・休日に119番を利用するにあたって、迷った経験はありますか。（単回答）

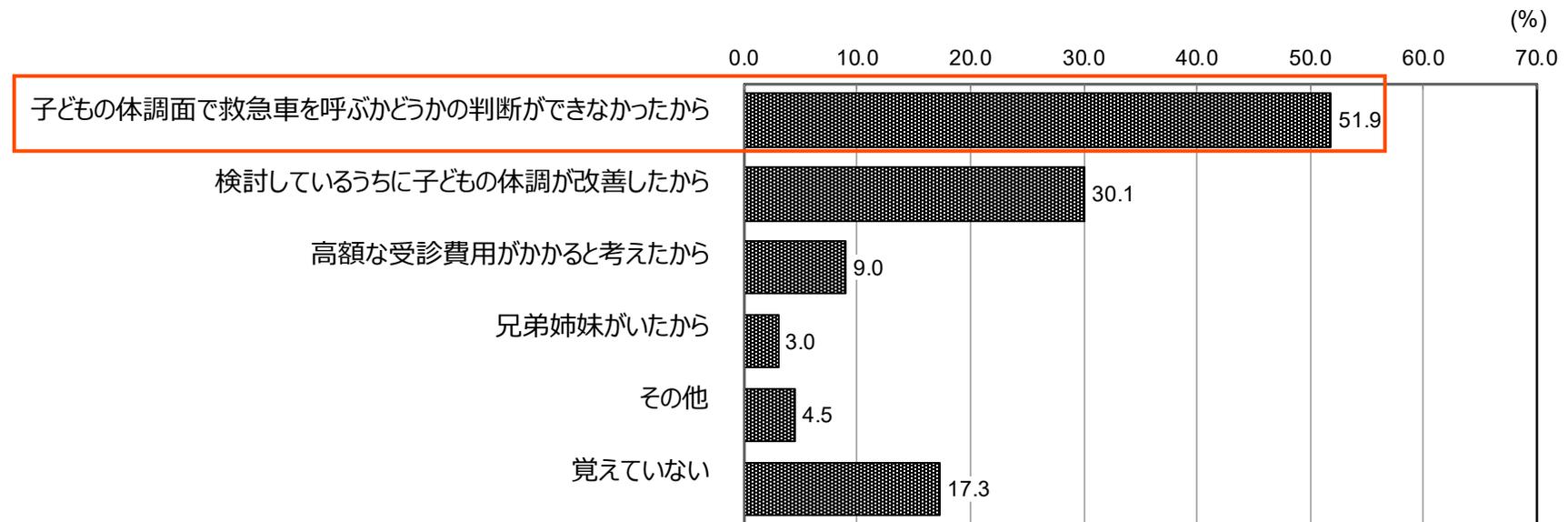


n=672

## Q10.調査結果（単純集計）

119番を利用しなかった理由として、  
「子どもの体調面で救急車を呼ぶかどうかの判断ができなかったから」が52%で最も多い。

Q10.夜間・休日に119番を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きます。その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

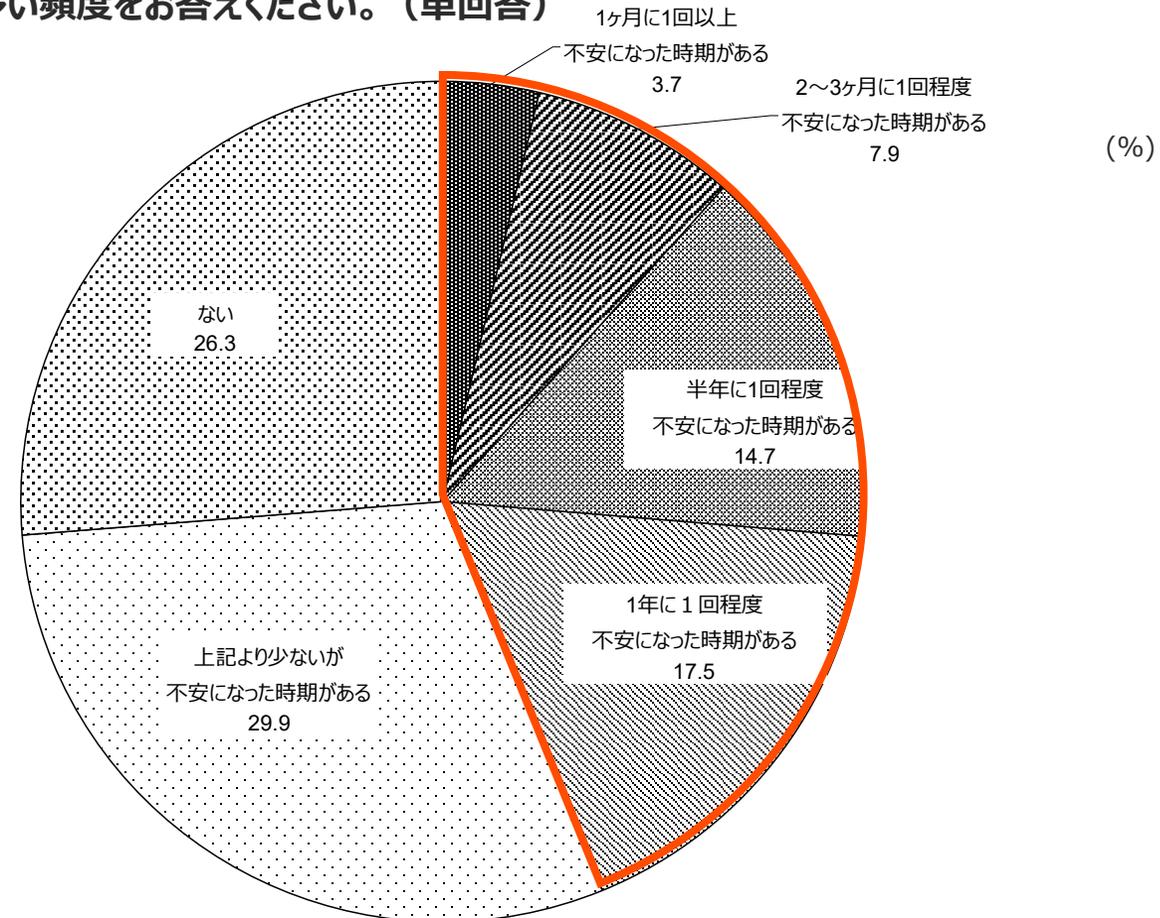


n=133

## Q11.調査結果（単純集計）

夜間・休日の小児医療救急サービスを利用した親または、利用を検討した親のうち  
44%の親が夜間・休日の子どもの急な病気やケガに伴う一連の受診行動で年に1回以上不安になっている。

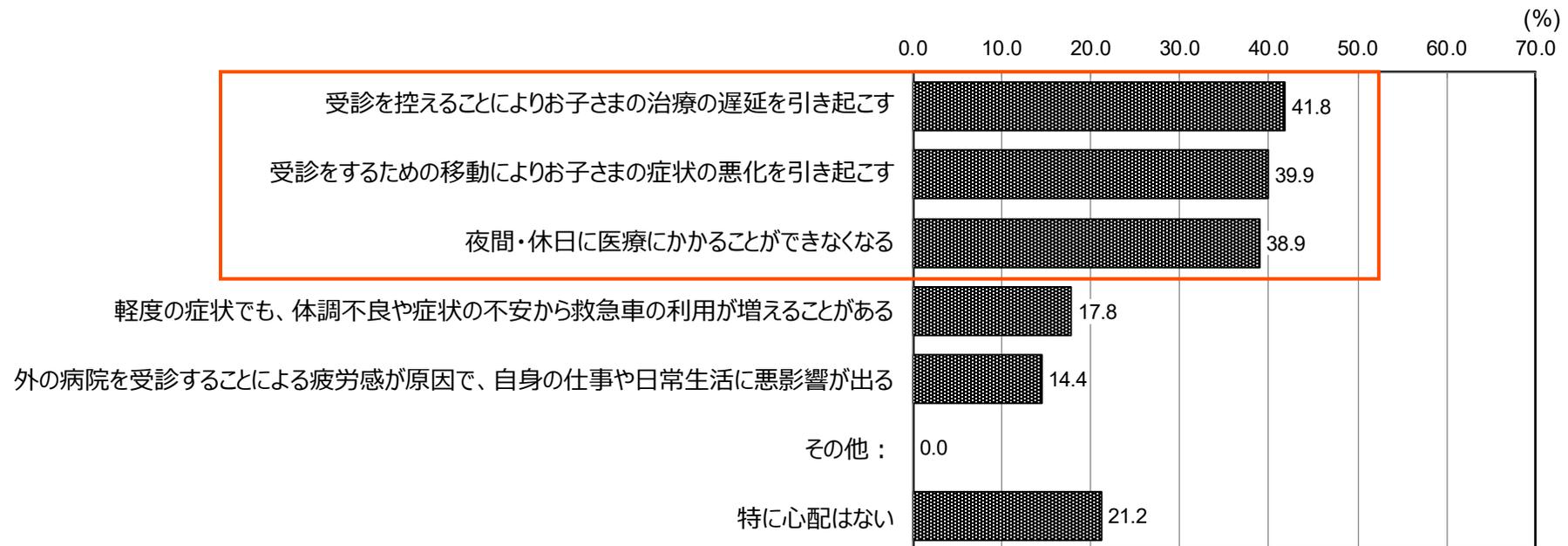
Q11.過去3年間で夜間・休日のお子さまの急な病気やケガに伴う一連の受診行動（医師の診察を受けることを検討したり、実際に受けること）に関して不安になった経験はありますか。ある場合、一番多い頻度をお答えください。（単回答）



## Q12.調査結果（単純集計）

救急往診が利用できなくなった場合、「受診を控えることによりお子さまの治療の遅延を引き起こす」が42%で最も多く、次いで40%の親が「受診をするための移動によりお子さまの症状の悪化を引き起こす」、39%の親が「夜間・休日に医療にかかることができなくなる」と回答している。

Q12.夜間・休日救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス）を「利用したことがある」方にお聞きます。夜間・休日救急往診が利用できなくなった場合、どのようなことが心配になりますか。（複数回答）

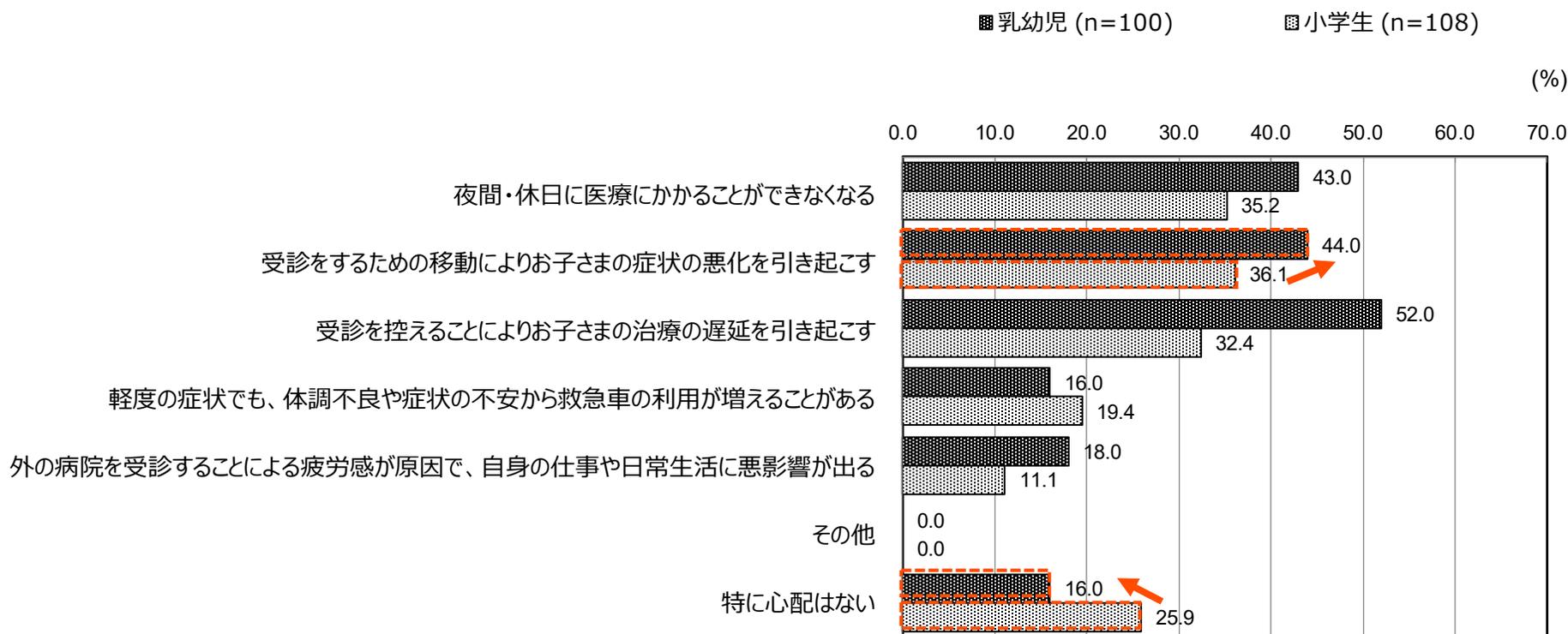


n=208

## Q12.調査結果（クロス集計）

乳幼児を持つ親においては、救急往診が利用できなくなった場合、  
「受診を控えることによりお子さまの治療の遅延を引き起こす」といった回答は半数を超える。  
また、「特に心配はない」との回答は乳幼児を持つ親は、小学生の子どもを持つ親と比較して10ポイント低い

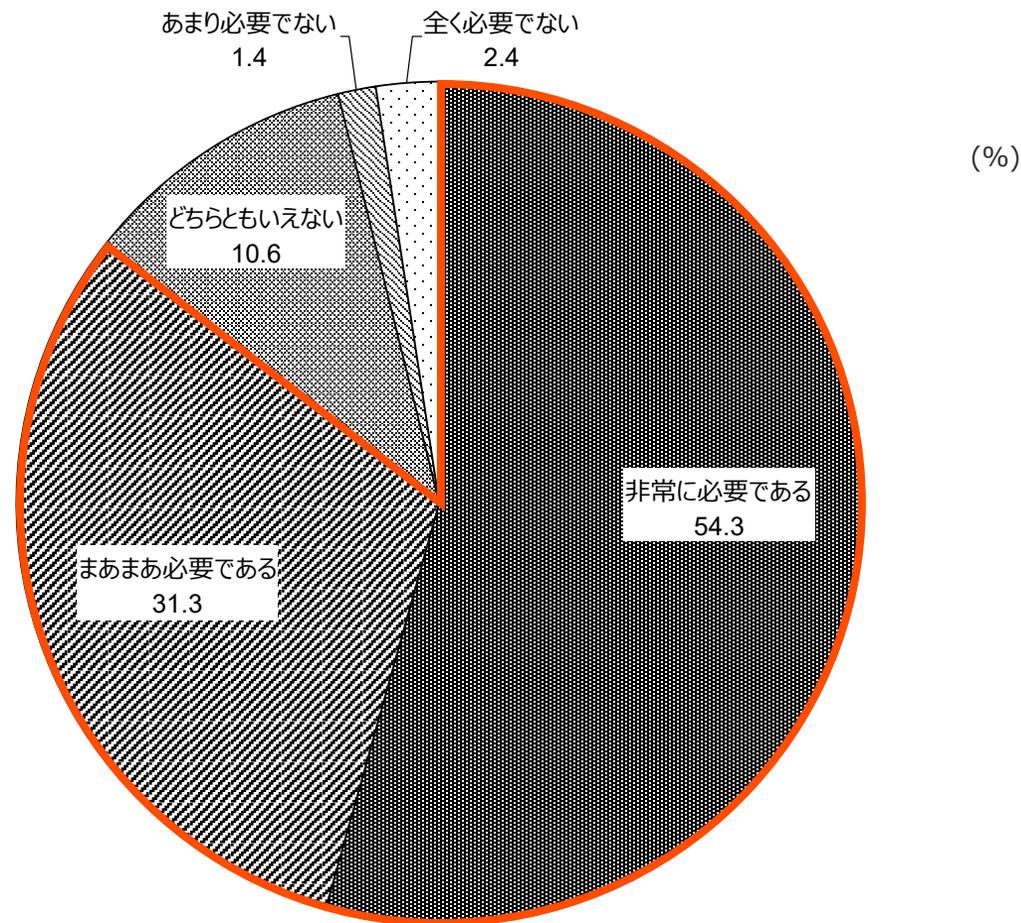
Q12.夜間・休日救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス）を「利用したことがある」方にお聞きます。  
夜間・休日救急往診が利用できなくなった場合、どのようなことが心配になりますか。（複数回答）



## Q13.調査結果（単純集計）

救急往診の利用者のうち86%の親が必要なサービスであると考えている。

Q13.夜間・休日救急往診は、子育てをしていくにあたり、どの程度必要なサービスだと感じますか。（単回答）

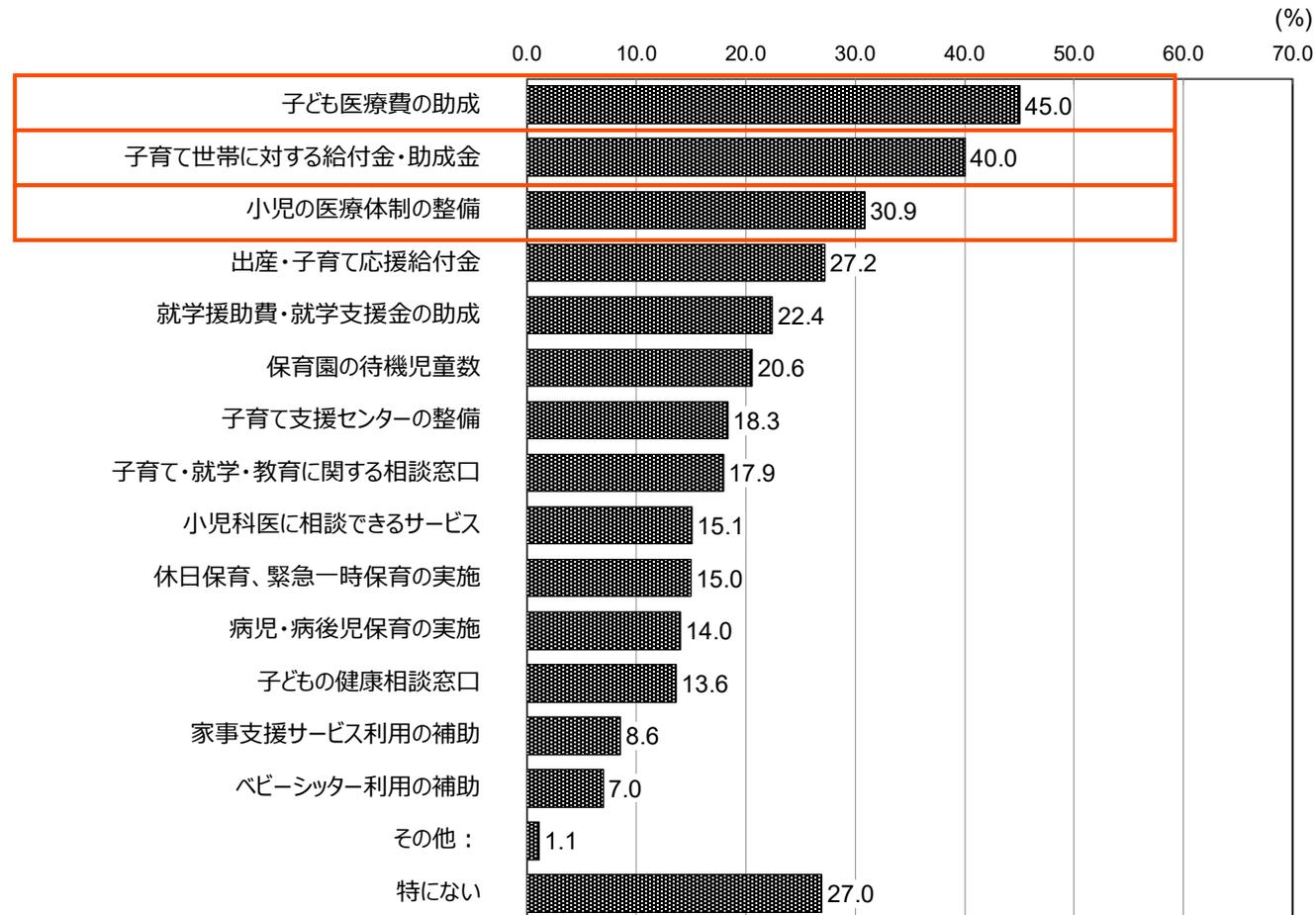


n=208

## Q14.調査結果（単純集計）

家族で住む街を決める際の子育て支援として重視することとして、「子ども医療費の助成」が45%と最も多く、次いで40%の親が「子育て世帯に対する給付金・助成金」、31%の親が「小児の医療体制の整備」と回答している。

Q14.あなたがご家族で住む街を決める際に、子育て支援として重視したいことをすべてお選びください。（複数回答）

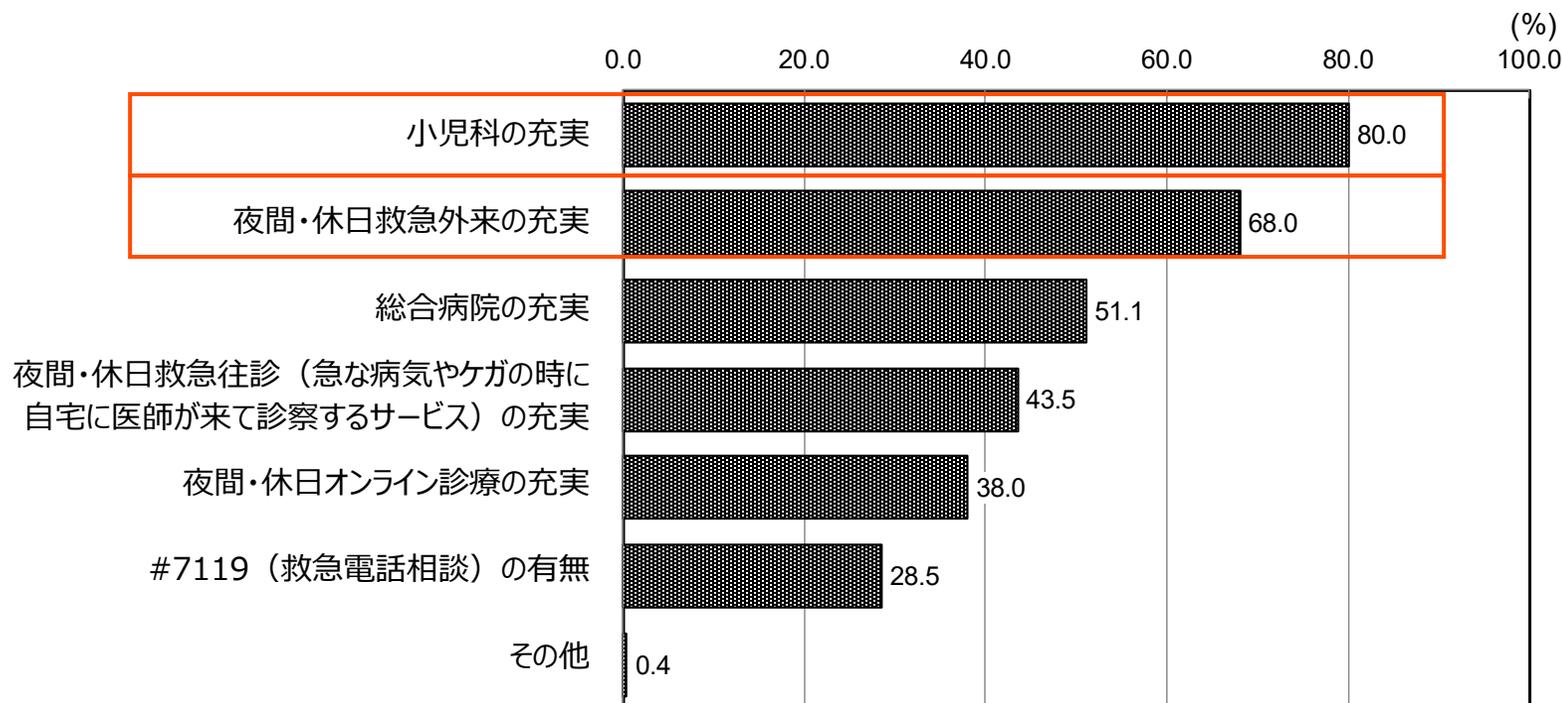


n=3,000

## Q15.調査結果（クロス集計）

家族で住む街を決める際の子育て支援として重視することとして「小児の医療体制の整備」と回答した親が具体的に重視する施策として、「小児科の充実」が80%と最も多く、次いで、68%の親は「夜間・休日救急外来の充実」と回答している。

Q15.ご家族で住む街を決める際に、子育て支援策として「小児の医療体制の整備」を重視するとお答えの方には、重視する点についてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

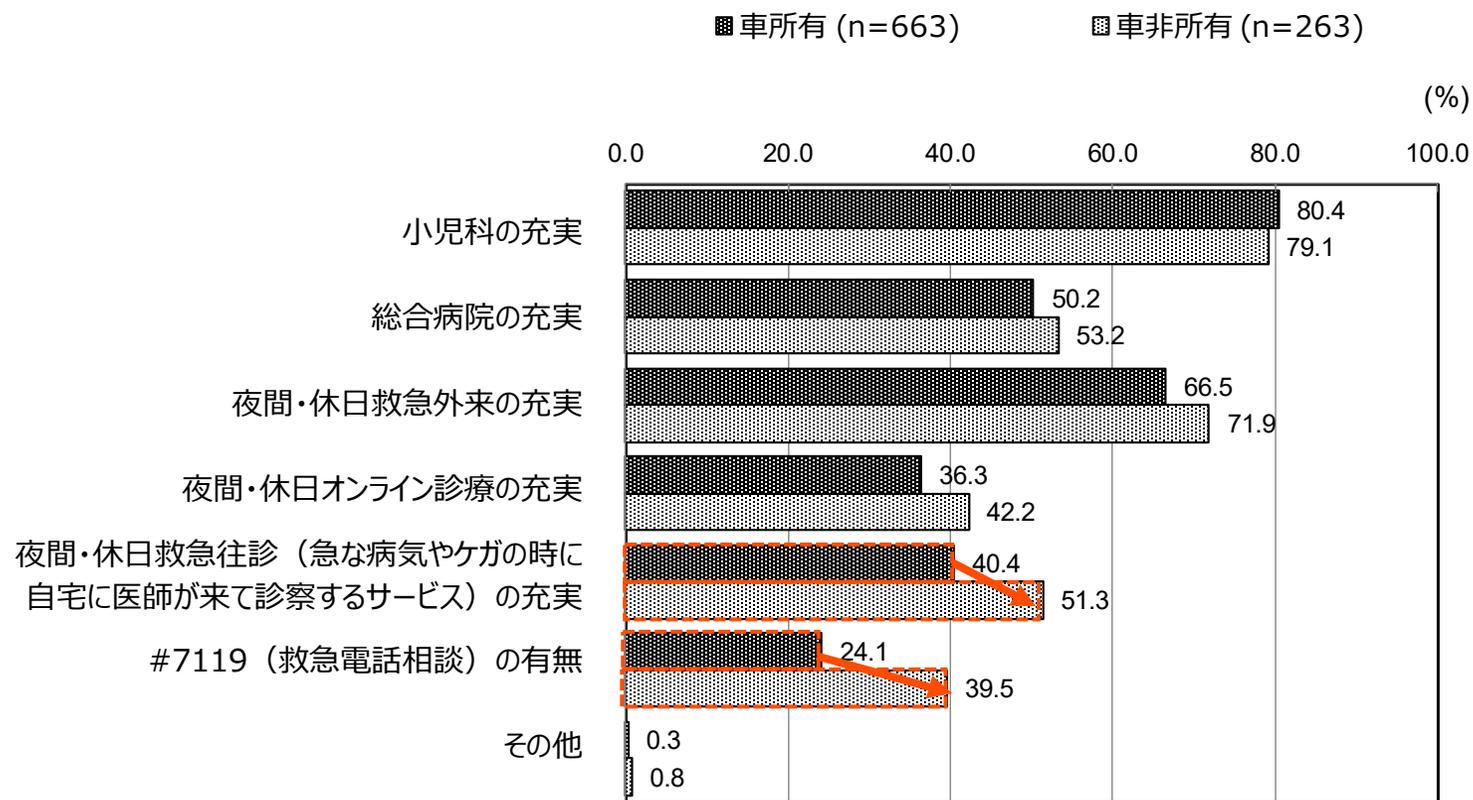


n=926

## Q15.調査結果（クロス集計）

家族で住む街を決める際の子育て支援として重視することとして、自家用車を保有しない家庭の親は自家用車を保有する親と比較して「夜間・休日救急往診の充実」は10ポイント程度、「#7119（救急電話相談）の有無」は15ポイント程度高い。

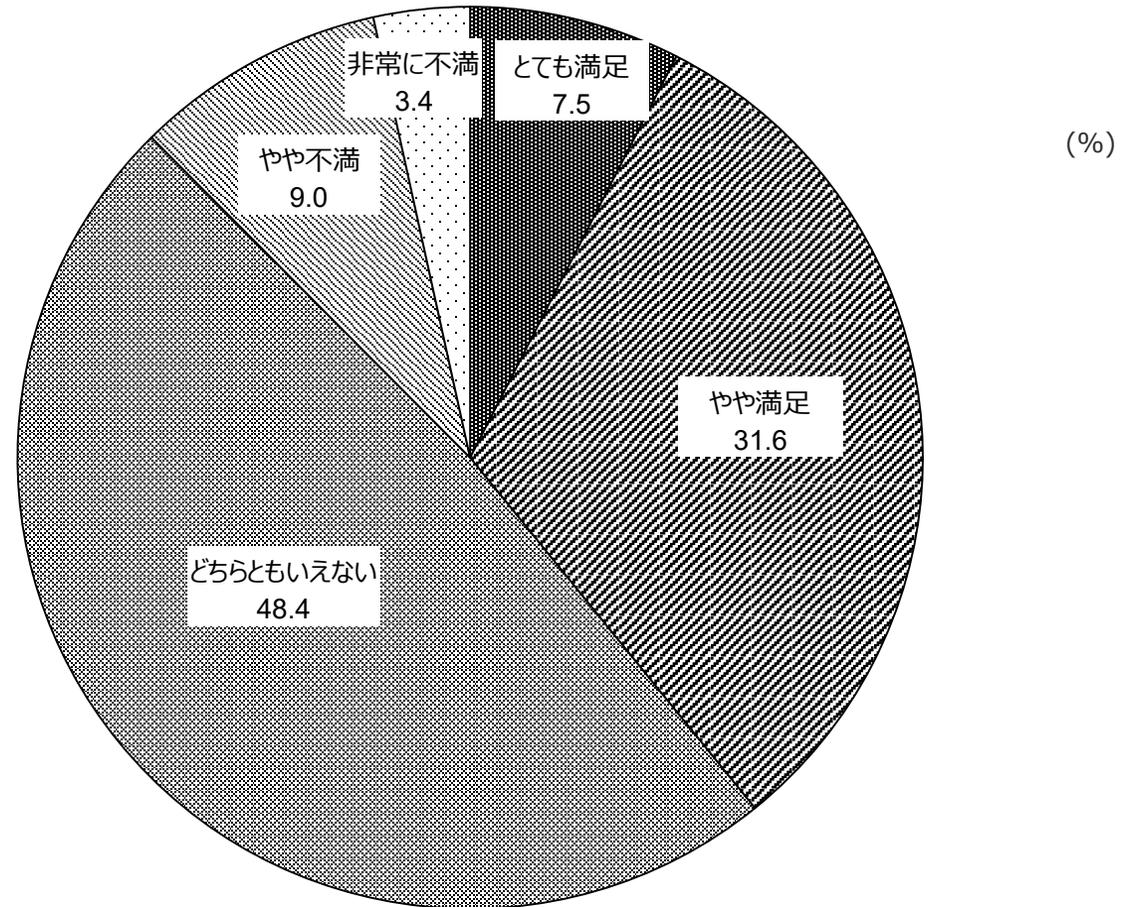
Q15.ご家族で住む街を決める際に、子育て支援策として「小児の医療体制の整備」を重視するとお答えの方にはうかがいます。重視する点についてあてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）



## Q16.調査結果（単純集計）

現在住んでいる街の小児の救急医療体制に対して、39%の親は満足、  
48%の親はどちらともいえないと回答している。

Q16.あなたが現在お住まいの街における「小児の救急医療」について満足度をお答えください。（単回答）

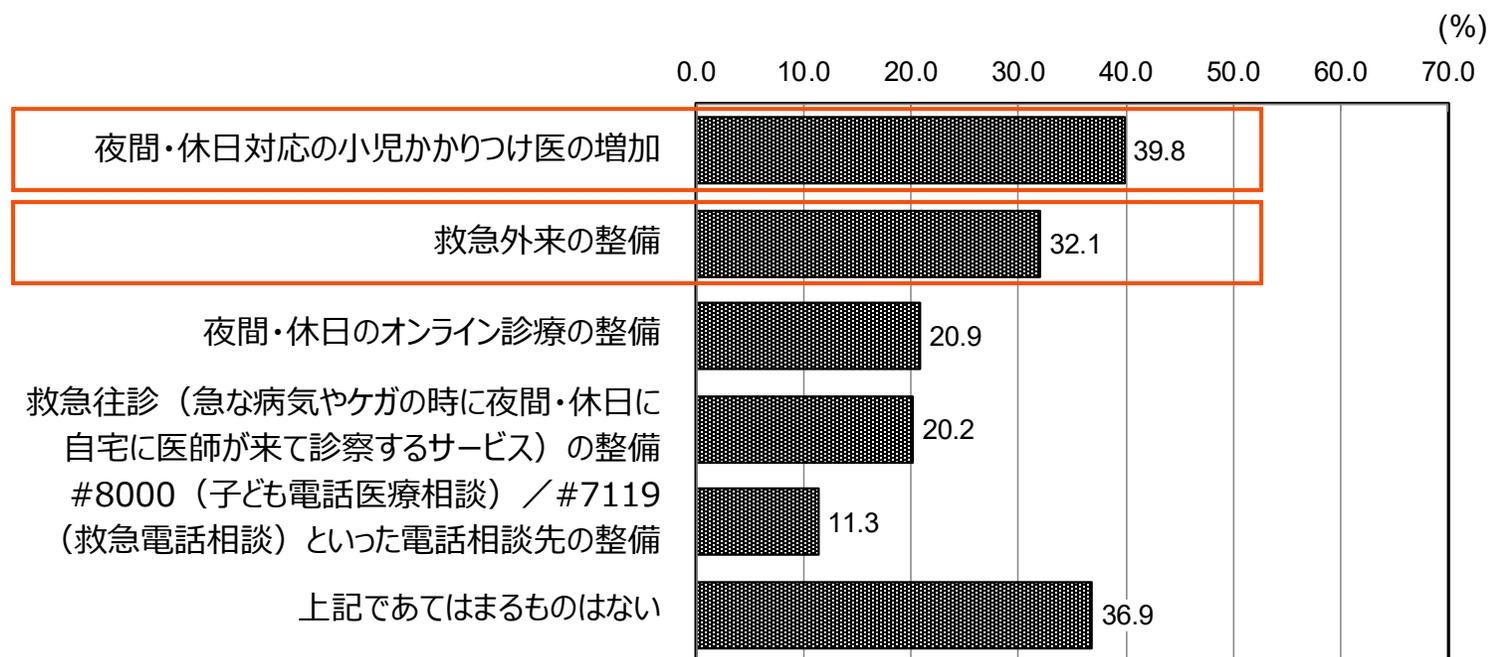


n=3,000

## Q17.調査結果（単純集計）

現在住んでいる街の小児の救急医療の満足度がどちらともいえないより低く回答した親のうち、**40%は「夜間・休日対応の小児かかりつけ医の増加」、32%は「救急外来の整備」の施策を求めている。**

Q17.お住まいの街における「小児の救急医療」の満足度を「どちらともいえない」「やや不満」「不満」とお答えの方にお聞きします。どのような施策が充実すれば、今お住まいの街に住み続けたいと感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。（複数回答）

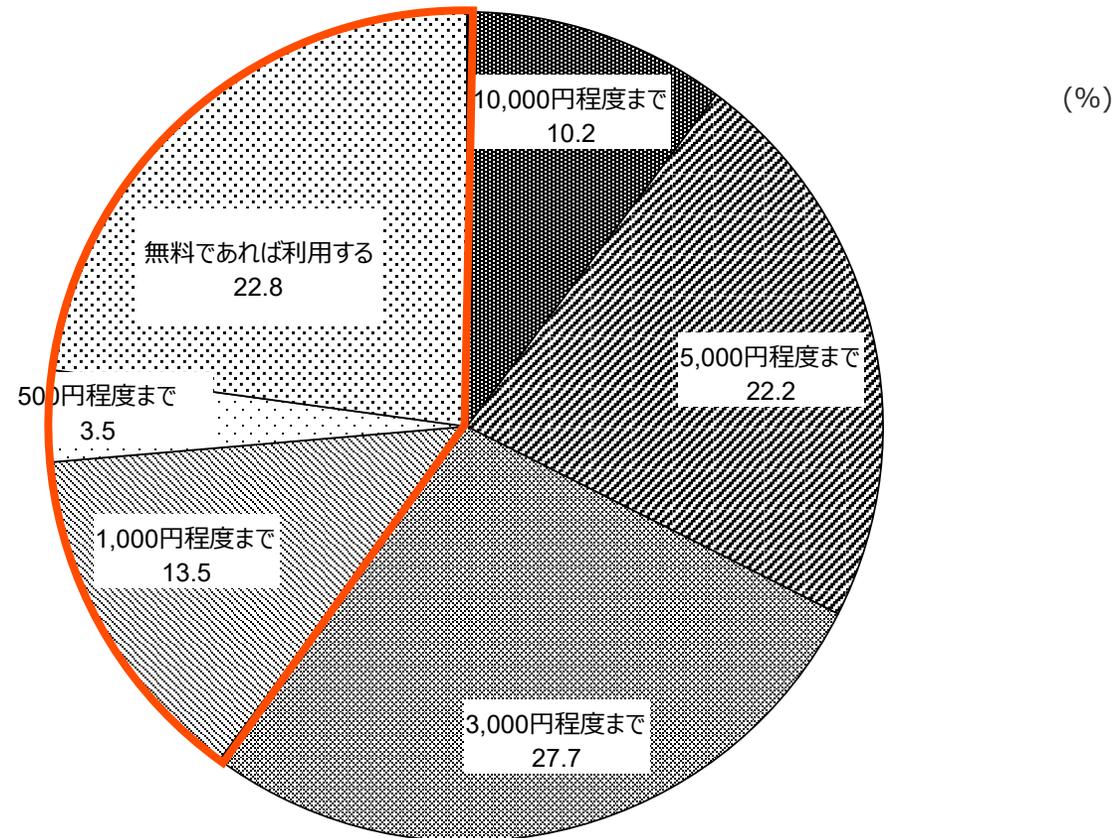


n=1,825

## Q18.調査結果（単純集計）

### 医師の交通費等の自己負担金として 無料から1,000円程度までであれば40%の親は小児・救急往診を利用すると回答

Q18.小児の夜間・休日救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス）を利用する場合、医療費の窓口負担額とは別に医師の交通費等の自己負担金がかかりますが、1診療あたりいくらまでなら利用しますか。（単回答）



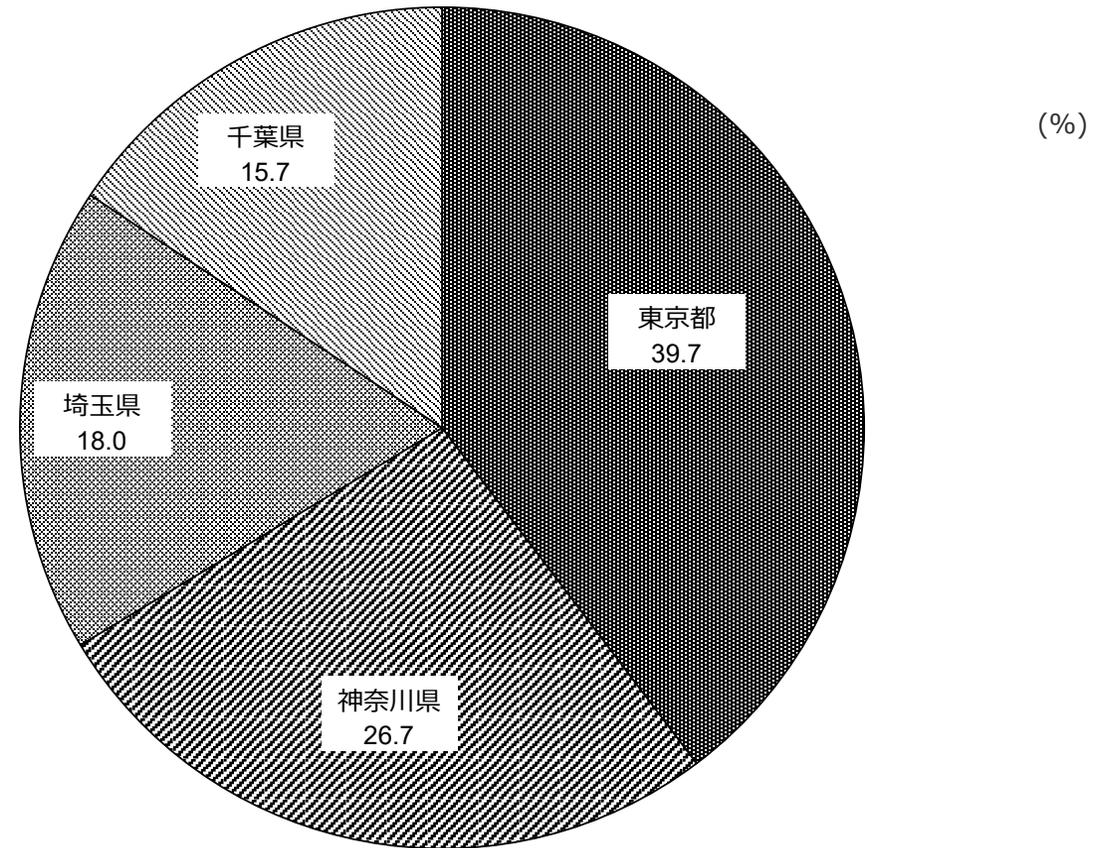
n=3,000

## 回答者の属性

---

## 東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の首都圏の方にアンケートを実施。

SC1. あなたがお住まいの都道府県をお答えください。

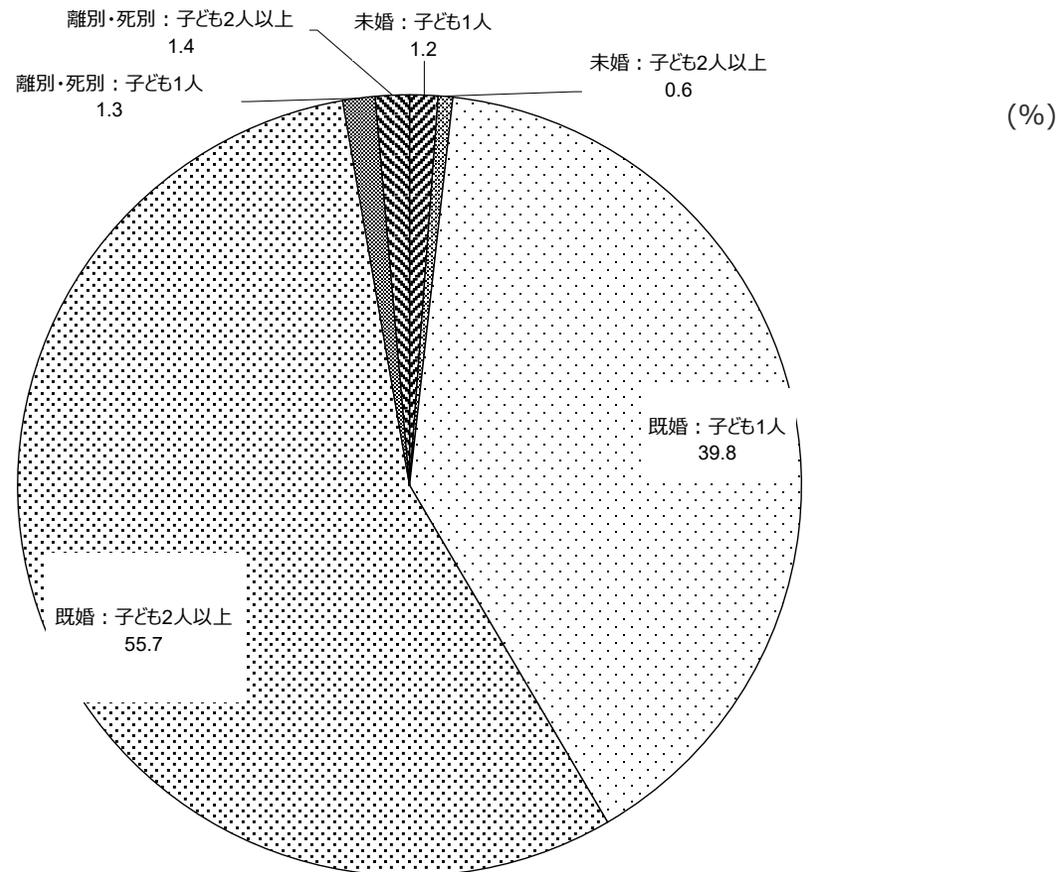


n=3,000

## アンケート回答者の婚姻状況とお子さまの人数は以下の通り。

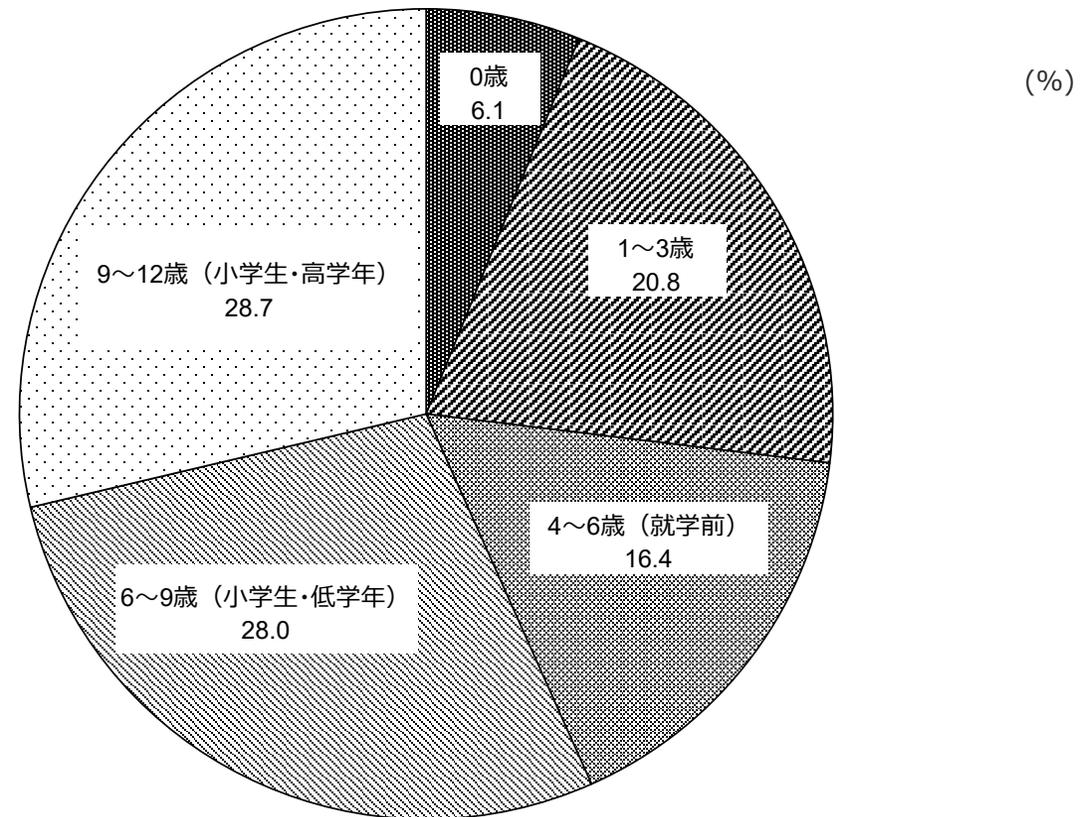
### SC2.あなたの婚姻状況と一緒に住まいのお子さまについてお聞かせください。

※1. 既婚には法律婚／事実婚双方を含みます。※2. お子さまと一緒に住んでない場合、「子どもなし」をお選びください。



## アンケート回答者のお子さまの年齢は以下の通り。

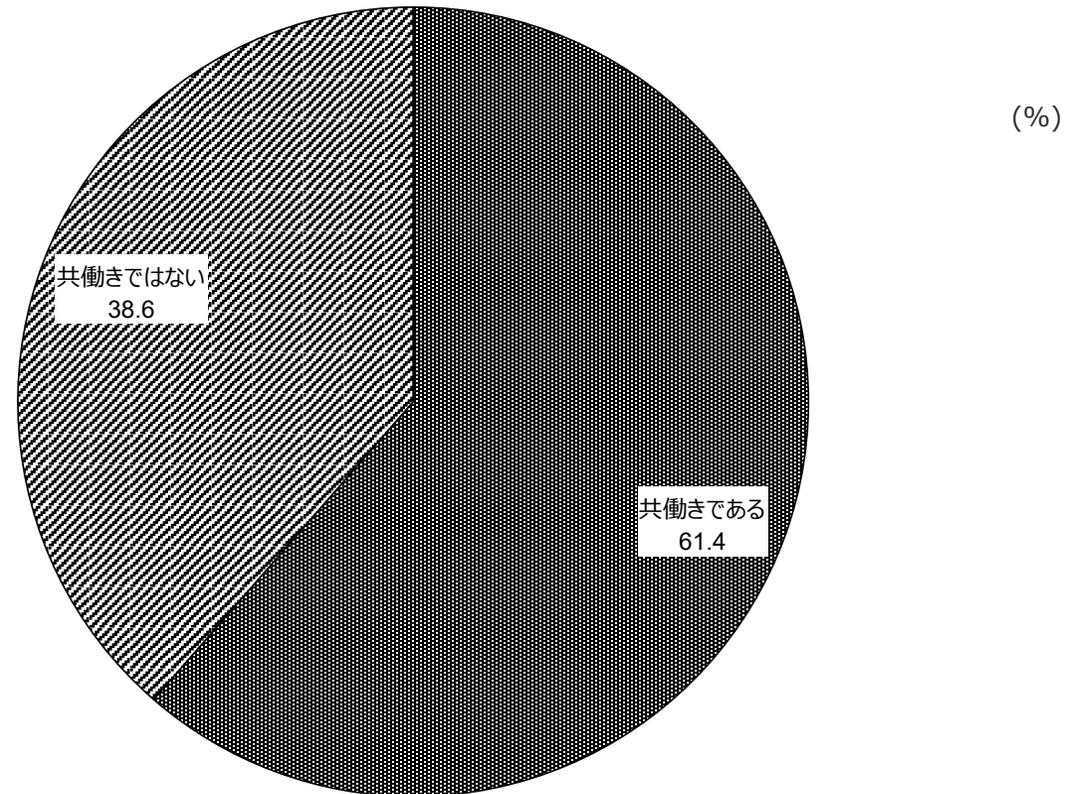
SC3.一緒にお住まいのお子さまの年齢はおいくつですか。/一番下のお子さまの年齢はおいくつですか。



n=3,000

## アンケート回答者の家族の就労状況は以下の通り。

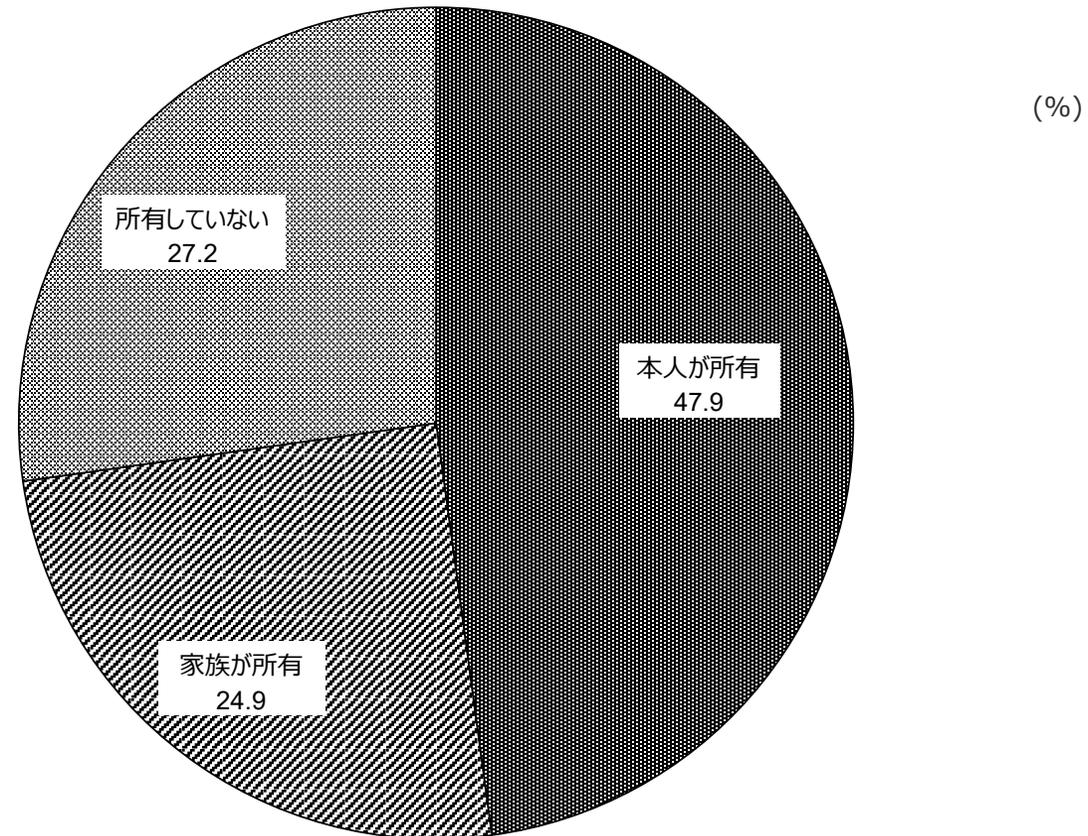
Q19.あなたのご家庭は共働きですか、共働きではないですか。



n=2,865

## アンケート回答者の車の保有状況は以下の通り。

### 自家用車の所有（調査会社のモニター属性）



n=3,000

## (参考) アンケート画面

---

SC1

必須

あなたがお住まいの都道府県をお答えください。

この質問は登録情報を再掲しています。現在の情報と異なる場合は選択しなおしてください。  
登録情報の修正は[こちら](#)からお願いします。

選択してください



SC2

必須

あなたの婚姻状況と一緒に住まいのお子さまについてお聞かせください。

※1. 既婚には法律婚／事実婚双方を含みます。

※2. お子さまと一緒に住んでない場合、「子どもなし」をお選びください。

- 1. 未婚：子どもなし
- 2. 未婚：子ども1人
- 3. 未婚：子ども2人以上
- 4. 既婚：子どもなし
- 5. 既婚：子ども1人
- 6. 既婚：子ども2人以上
- 7. 離別・死別：子どもなし
- 8. 離別・死別：子ども1人
- 9. 離別・死別：子ども2人以上

SC3-2

必須

一番下のお子さまの年齢はおいくつですか。

- 1. 0歳
- 2. 1～3歳
- 3. 4～6歳（就学前）
- 4. 6～9歳（小学生・低学年）
- 5. 9～12歳（小学生・高学年）
- 6. 12～15歳（中学生）
- 7. 15～17歳
- 8. 18歳以上

**Q1-2****必須**

あなたのご家庭では、お子さまに次のような小児かかりつけ医<sup>※1</sup>をもっていますか、いませんか。

※1.健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる医師のこと

(出所：公益社団法人 東京都医師会[https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/counseling/primary\\_care](https://www.tokyo.med.or.jp/citizen/counseling/primary_care))

※2.複数のかかりつけ医をおもちの場合は、よく利用するかかりつけ医についてお答えください。

※3.お子さまお二人以上の方は一番下のお子さまの状況について教えてください。

- 1. 小児かかりつけ医がおり、年中無休で、夜間の診療も行っている
- 2. 小児かかりつけ医がおり、休診日があるが、夜間の診療は行っている
- 3. 小児かかりつけ医がおり、年中無休だが、夜間の診療は行っていない
- 4. 小児かかりつけ医がいるが、休診日があり、夜間の診療も行っていない
- 5. 小児かかりつけ医がいるが、休診日や夜間の診療についてわからない
- 6. 小児かかりつけ医はもっていない

**Q2-2** お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関して、過去3年間の以下のサービスの利用であてはまるものをお選びください。  
**必須** ※お子さまお二人以上の方は一番下のお子さまの状況について教えてください。

1. 救急外来（急な病気やケガの時に行く病院、診療所） ▲

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用を検討したが、実際に利用はしなかった
- 3. 知っているが、利用する機会がなかった
- 4. 知らなかった

2. 救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス） ▲

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用を検討したが、実際に利用はしなかった
- 3. 知っているが、利用する機会がなかった
- 4. 知らなかった

3. 119番（救急車） ▲

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用を検討したが、実際に利用はしなかった
- 3. 知っているが、利用する機会がなかった
- 4. 知らなかった

4. #8000（子ども電話医療相談）／#7119（救急電話相談）といった電話相談先 ▲

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用を検討したが、実際に利用はしなかった
- 3. 知っているが、利用する機会がなかった
- 4. 知らなかった

5. オンライン診療 ▲

- 1. 利用したことがある
- 2. 利用を検討したが、実際に利用はしなかった
- 3. 知っているが、利用する機会がなかった
- 4. 知らなかった

**Q3-2**  
**必須**

お子さまの夜間・休日の急な病気やケガに関わる医療サービスで利用したことがあるものについて、過去3年間の満足度をお答えください。  
※お子さまお二人以上の方は一番下のお子さまの状況について教えてください。

1. 救急外来（急な病気やケガの時に行く病院、診療所） ▲

- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 非常に不満

2. 救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス） ▲

- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 非常に不満

3. 119番（救急車） ▲

- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 非常に不満

4. #8000（子ども電話医療相談）／#7119（救急電話相談）といった電話相談先 ▲

- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 非常に不満

5. オンライン診療 ▲

- 1. とても満足
- 2. やや満足
- 3. どちらともいえない
- 4. やや不満
- 5. 非常に不満

**Q4 必須** 夜間・休日救急外来を「利用したことがある」もしくは「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きます。  
夜間・休日救急外来を利用する（受診する）にあたって、迷った経験はありますか。

- 1. ある
- 2. ない

**Q5 必須** 夜間・休日救急外来を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きます。  
その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- 1. かかりつけ医と連絡がとれたため、救急外来に行かなかった
- 2. 救急外来をやっている病院を受診すべきかどうかの判断ができなかった
- 3. 小児診療可の救急外来をやっている病院が見つからなかった
- 4. 交通手段がなく、救急外来に行くことができなかった
- 5. タクシー代などの交通費が高く、救急外来に行くことができなかった
- 6. 兄弟姉妹がいて、救急外来に行くことができなかった
- 7. 親自身が体調不良で、救急外来に連れて行くことができなかった
- 8. 親・もしくは子が歩行が困難などの理由で、救急外来に連れて行くことができなかった
- 9. 救急外来は待ち時間が長いと考えた
- 10. 救急外来は子どもをきちんと診てもらえないと考えた
- 11. 救急外来は検査ができないと考えた
- 12. 救急外来へ連絡したところ、受診を断られた
- 13. 検討しているうちに子どもの体調が改善した
- 14. 高額な受診費用がかかると考えた
- 15. その他：
- 16. 覚えていない

**Q6** 夜間・休日救急外来を「利用したことがある」、その満足度を「どちらともいえない」「やや不満」「非常に不満」とお答えの方にお聞きします。  
**必須** 不満に思うこととしてあてはまるものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- 1. 交通手段がなく、行くことが困難だった
- 2. 交通費が高かった
- 3. 親自身が体調不良で子どもを連れていくのが大変だった
- 4. 待ち時間が長く、体調が悪い子どもの対応が難しかった
- 5. 待ち時間が長く、子どもの症状が悪化した
- 6. 待ち時間が長く、一緒にきた兄弟姉妹の対応が難しかった
- 7. 待ち時間が長く、自宅で待つ兄弟姉妹の対応が難しかった
- 8. 医師の対応が悪かった
- 9. 受付・スタッフの対応が悪かった
- 10. 薬が当日・次の日分のみなど少なかった
- 11. 高額な受診費用がかかった
- 12. 専門医がいなかった
- 13. 翌日の再受診が必要だった
- 14. その他：
- 15. 覚えていない

**Q7** 夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きします。  
**必須** 夜間・休日にお子さまが119番を利用した理由としてあてはまるものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- 1. 重大な病気やケガのため、一刻も早い受診が必要だと自身で判断したから
- 2. 医療機関で救急車を指示されたから
- 3. #8000（子ども電話医療相談）／#7119（救急電話相談）といった電話相談先に相談の結果、救急車を案内されたから
- 4. 病気やケガが重大かどうか判断できなかったから
- 5. 近くの救急外来への交通手段がなかったから
- 6. どの病院を受診すべきか分からなかったから
- 7. 救急車で搬送された方が病院での待ち時間がないと思ったから
- 8. その他：

**Q8** 夜間・休日に119番を「利用したことがある」方にお聞きします。  
**必須** 夜間・休日にお子さまが119番を利用した結果、どうなりましたか。  
(複数回ある場合は、最も症状が重かった時についてご回答ください)

- 1. 入院となった
- 2. 入院とはならなかった

**Q9** 夜間・休日に119番を「利用したことがある」もしくは「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きします。  
**必須** 夜間・休日に119番を利用するにあたって、迷った経験はありますか。

- 1. ある
- 2. ない

**Q10** 必須 夜間・休日に119番を「利用を検討したが、実際に利用はしなかった」方にお聞きします。  
その理由としてあてはまるものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- 1. 子どもの体調面で救急車を呼ぶかどうかの判断ができなかったから
- 2. 兄弟姉妹がいたから
- 3. 検討しているうちに子どもの体調が改善したから
- 4. 高額な受診費用がかかると思ったから
- 5. その他:
- 6. 覚えていない

**Q11-2** 必須 過去3年間で夜間・休日のお子さまの急な病気やケガに伴う一連の受診行動（医師の診察を受けることを検討したり、実際に受けること）に関して不安になった経験はありますか。  
ある場合、一番多い頻度をお答えください。  
※お子さまお二人以上の方は一番下のお子さまの状況について教えてください。

- 1. 1ヶ月に1回以上不安になった時期がある
- 2. 2～3ヶ月に1回程度不安になった時期がある
- 3. 半年に1回程度不安になった時期がある
- 4. 1年に1回程度不安になった時期がある
- 5. 上記より少ないが不安になった時期がある
- 6. ない

**Q12** 必須 夜間・休日救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス）を「利用したことがある」方にお聞きします。  
夜間・休日救急往診が利用できなくなった場合、どのようなことが心配になりますか。  
(いくつでも)

- 1. 夜間・休日に医療にかかることができなくなる
- 2. 受診をするための移動によりお子さまの症状の悪化を引き起こす
- 3. 受診を控えることによりお子さまの治療の遅延を引き起こす
- 4. 軽度の症状でも、体調不良や症状の不安から救急車の利用が増えることがある
- 5. 外の病院を受診することによる疲労感が原因で、自身の仕事や日常生活に悪影響が出る
- 6. その他:
- 7. 特に心配はない

**Q13** 必須 夜間・休日救急往診は、子育てをしていくにあたり、どの程度必要なサービスだと感じますか。

- 1. 非常に必要である
- 2. まあまあ必要である
- 3. どちらともいえない
- 4. あまり必要でない
- 5. 全く必要でない

**Q14 必須** あなたがご家族で住む街を決める際に、子育て支援として重視したいことをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 小児の医療体制の整備       | <input type="checkbox"/> 9. 子どもの健康相談窓口                 |
| <input type="checkbox"/> 2. 出産・子育て応援給付金      | <input type="checkbox"/> 10. 子育て・就学・教育に関する相談窓口         |
| <input type="checkbox"/> 3. 子育て世帯に対する給付金・助成金 | <input type="checkbox"/> 11. 子育て支援センターの整備              |
| <input type="checkbox"/> 4. 子ども医療費の助成        | <input type="checkbox"/> 12. ベビーシッター利用の補助              |
| <input type="checkbox"/> 5. 就学援助費・就学支援金の助成   | <input type="checkbox"/> 13. 家事支援サービス利用の補助             |
| <input type="checkbox"/> 6. 保育園の待機児童数        | <input type="checkbox"/> 14. 小児科医に相談できるサービス            |
| <input type="checkbox"/> 7. 休日保育、緊急一時保育の実施   | <input type="checkbox"/> 15. その他： <input type="text"/> |
| <input type="checkbox"/> 8. 病児・病後児保育の実施      | <input type="checkbox"/> 16. 特になし                      |

**Q15 必須** ご家族で住む街を決める際に、子育て支援策として「小児の医療体制の整備」を重視するとお答えの方にはかかっています。重視する点についてあてはまるものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 小児科の充実                                   |
| <input type="checkbox"/> 2. 総合病院の充実                                  |
| <input type="checkbox"/> 3. 夜間・休日救急外来の充実                             |
| <input type="checkbox"/> 4. 夜間・休日オンライン診療の充実                          |
| <input type="checkbox"/> 5. 夜間・休日救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス）の充実 |
| <input type="checkbox"/> 6. #7119（救急電話相談）の有無                         |
| <input type="checkbox"/> 7. その他： <input type="text"/>                |

**Q16 必須** あなたが現在お住まいの街における「小児の救急医療」について満足度をお答えください。

1. とても満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 非常に不満

**Q17 必須** お住まいの街における「小児の救急医療」の満足度を「どちらともいえない」「やや不満」「不満」とお答えの方にお聞きします。どのような施策が充実すれば、今お住まいの街に住み続けたいと感じますか。あてはまるものをすべてお選びください。  
(いくつでも)

- |  |
|--|
| <input type="checkbox"/> 1. 救急外来の整備                                    |
| <input type="checkbox"/> 2. 夜間・休日のオンライン診療の整備                           |
| <input type="checkbox"/> 3. 救急往診（急な病気やケガの時に夜間・休日に自宅に医師が来て診察するサービス）の整備  |
| <input type="checkbox"/> 4. #8000（子ども電話医療相談）／#7119（救急電話相談）といった電話相談先の整備 |
| <input type="checkbox"/> 5. 夜間・休日対応の小児かかりつけ医の増加                        |
| <input type="checkbox"/> 6. 上記であてはまるものはない                              |

**Q18** 小児の夜間・休日救急往診（急な病気やケガの時に自宅に医師が来て診察するサービス）を利用する場合、医療費の窓口負担額とは別に医師の交通費等の自己負担金がかかりますが、1診療あたりいくらまでなら利用しますか。

必須

- 1. 10,000円程度まで
- 2. 5,000円程度まで
- 3. 3,000円程度まで
- 4. 1,000円程度まで
- 5. 500円程度まで
- 6. 無料であれば利用する

**Q19** あなたのご家庭は共働きですか、共働きではないですか。

必須

- 1. 共働きである
- 2. 共働きではない